

新規ユーザー様向け  
ESET PROTECTソリューション  
バージョン13 環境構築手順

【第1版】

2026年1月13日

**Canon**

# もくじ

- はじめに
- 構成例 1 (100クライアント以下・管理機能無し)
  - 環境イメージ
  - 構築作業フロー
  - 構築作業
    - 事前準備
    - ミラー端末の構築
    - クライアントPCへの展開
    - クライアントPCの確認
- 構成例 2 (400クライアント以下・管理機能あり)
  - 環境イメージ
  - 構築作業フロー
  - 構築作業
    - 事前準備
    - セキュリティ管理ツールの構築
    - クライアントPCへの展開
    - 管理するクライアントPCの確認

# はじめに

- 本資料は、ESET PROTECTソリューションをご購入いただいたお客様が新たにバージョン12.Xのプログラムを導入する際の手順の流れをまとめた資料です。
- 本資料で使用している、各プログラム名の略称は以下の通りです。
  - ◆ ESET Endpoint アンチウイルス = EEA
  - ◆ ESET Endpoint Security = EES
  - ◆ ESET Server Security for Microsoft Windows Server = ESSW
  - ◆ ESET PROTECT on-prem = EP on-prem
  - ◆ ESET Management エージェント = EMエージェント
- 想定している構成環境は以下の2つです。

## 構成例 1

- 100クライアント以下・管理機能無し
- ESET Endpoint Security(EES)のミラー機能使用 ※1
- インターネットへの直接接続が可能なネットワーク(プロキシ無し)

## 構成例 2

- 400クライアント以下・管理機能あり(セキュリティ管理ツールが必要)
- ミラーツールを使用したミラーサーバーの構築 ※2 ※3
- インターネットへの直接接続が可能なネットワーク(プロキシ無し)

※1 ミラー機能とは検出エンジンをESET社のサーバーに代わり、クライアントに配信する機能です。

※2 ミラーツールとは、ESET社から配信される検出エンジンをダウンロードして、ミラーサーバーで配信可能な状態に変換するツールです。

※3 ミラーサーバーを構築されない場合でも本手順を参考に構築いただけます。

本資料ではEES V12.0、ESSW V12.0、EP on-prem V13.0、EMエージェント V12.5 を使用しています。

※EEA V12.Xをご利用の場合でも本資料の内容で構築が可能です。

# はじめに

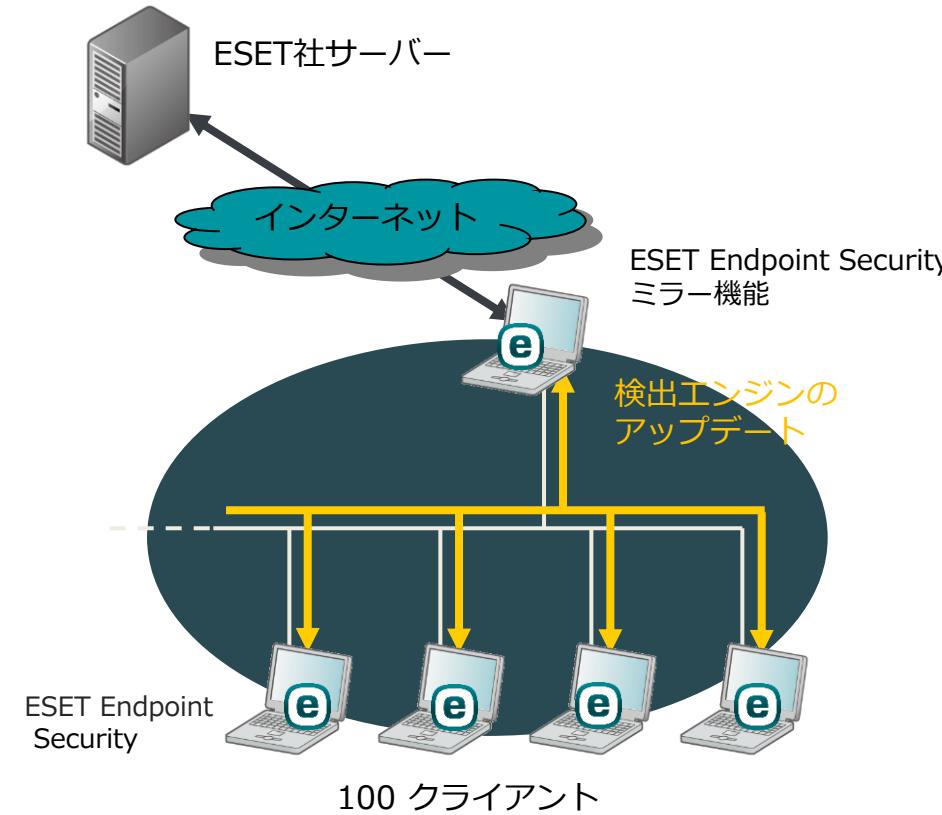
- 本資料で使用しているESET製品の画面イメージは使用するバージョンにより異なる場合があります。また、今後画面イメージや文言が変更される可能性がございます。
- ESET、ESET Endpoint Security、ESET Endpoint アンチウイルス、ESET Server Security、ESET PROTECT on-premは、ESET, spol. s r.o.の商標です。
- Windows、Windows Server、Microsoft Edge、Internet Explorerは、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における商標登録または商標です。

# 【構成例 1】環境イメージ

## 構成例 1

- ・管理機能無し
- ・EESのミラー機能を使用 ※

※EES のミラー機能でも同様の構成にすることが可能です。



### 構成

- ・1台の端末でミラー機能を運用(管理機能は無し)
- ・端末は専用機・常時起動を推奨

### ミラー端末 スペック

- ・CPU : 2コア以上
- ・メモリ : 2GB以上
- ・HDD : 10GB以上
- ・ネットワークアダプタ : 1Gbps

### ミラー端末の 利用プログラム

- ・ウィルス対策およびミラー機能 :  
ESET Endpoint Security V12.X

### クライアントPCの 利用プログラム

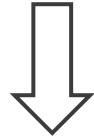
- ・ウィルス対策 : ESET Endpoint Security V12.X

### クライアント数の 目安

- ・100クライアントまで

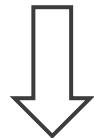
# 【構成例 1】構築作業フロー

## 事前準備



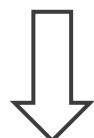
- ・環境構築時に必要な情報の確認

## ミラー端末の構築



- ・EESのインストール
- ・ミラー機能の有効化

## クライアントPCへの展開



- ・設定読み込み型インストーラーの作成
- ・各端末で設定読み込み型インストーラーの実行

## クライアントPCの確認

# 【構成例 1】事前準備 - 環境構築時に必要な情報確認

- 以下のURLからユーザーズサイトにログインします。
  - ユーザーズサイト : <https://canon-its.jp/product/eset/users/>  
※ログインには、シリアル番号およびユーザーズサイトパスワードが必要です。
- 環境の構築に必要なライセンス情報およびプログラムをダウンロードします。
  - ESET Endpoint Security V12.X  
※「プログラム/マニュアル」→「クライアント用プログラム」→「基本的/総合的なエンドポイント保護」  
→「Windows向けプログラム」に進み、環境にあったEESをダウンロードしてください。  
※本手順では「フルモジュールインストーラー」を利用します。  
  
  - 製品認証キー  
※「ライセンス情報/申込書作成」に進み、アクティベーション情報配下にある  
「製品認証キー」の情報を確認してください。

## 【構成例 1】ミラー端末の構築 – EESのインストール

ミラー端末となるPCに「ESET Endpoint Security V12.X」のインストールを行います。

- ミラー端末となるPC上で「ESET Endpoint Security V12.X」のインストーラーをダブルクリックします。

**重要**

ESET Endpoint Securityをインストールする前に、他のウイルス対策ソフトがインストールされていないことを確認してください。2つ以上のウイルス対策ソフトが1台のコンピューターにインストールされていると、互いに競合し重大な問題が発生する場合がありますので、他のウイルス対策ソフトはアンインストールしてください。



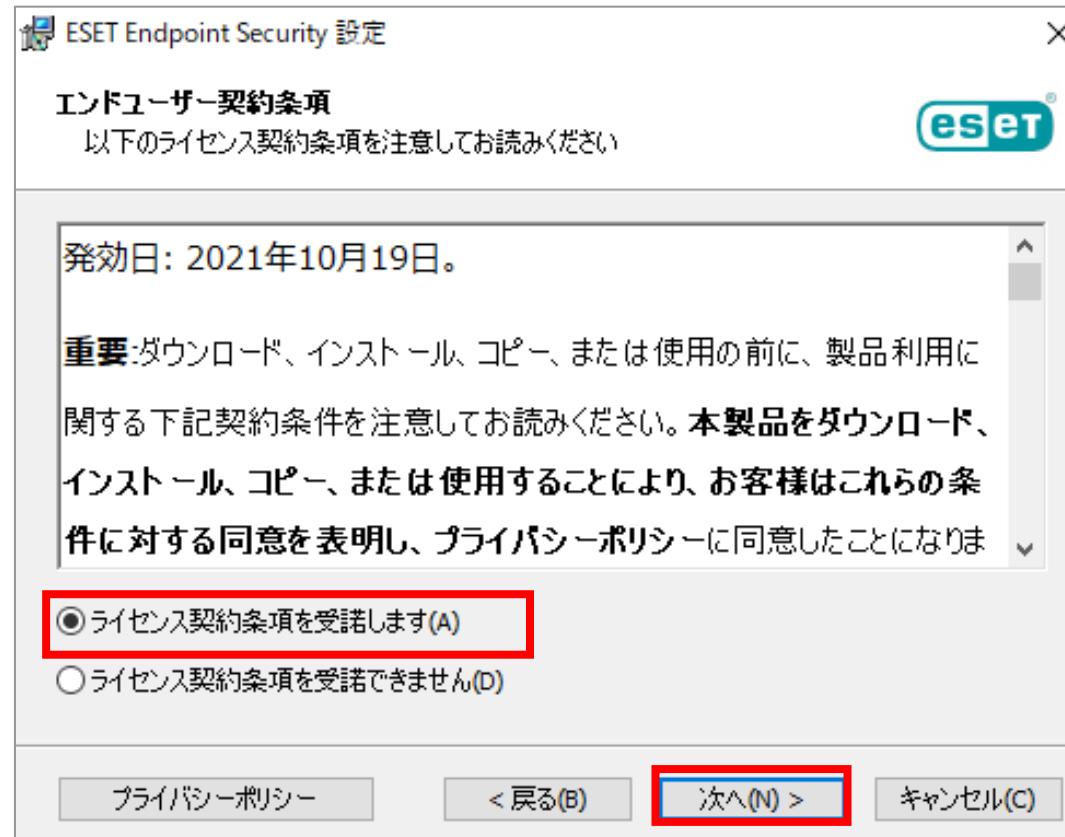
## 【構成例 1】ミラー端末の構築 – EESのインストール

- ESET Endpoint Securityセットアップウィザードが表示されましたが、言語を「日本語」に選択し、「次へ」をクリックします。



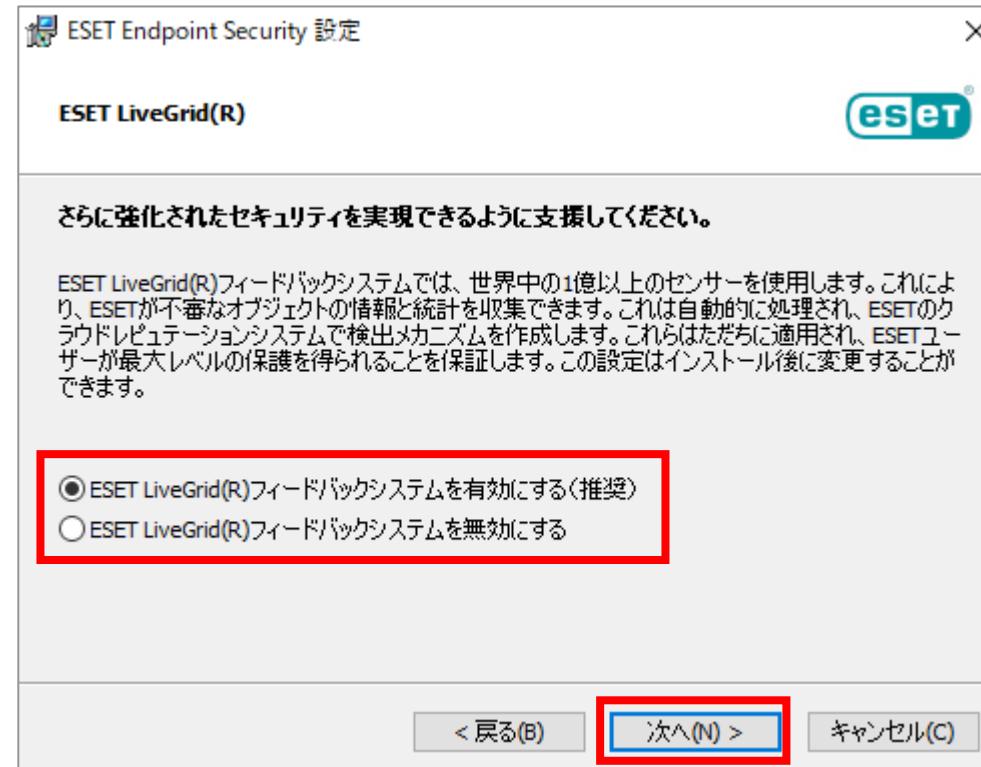
## 【構成例 1】ミラー端末の構築 – EESのインストール

- エンドユーザー契約条項で「ライセンス契約条項を受諾します」を選択します。
- 「次へ」をクリックします。



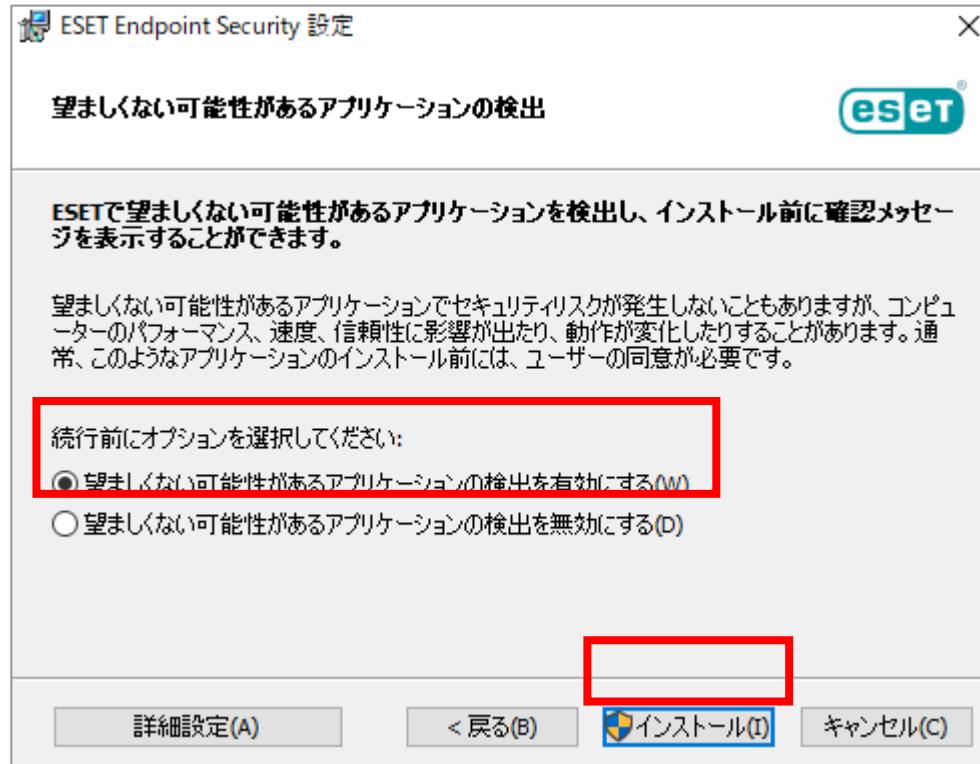
## 【構成例 1】ミラー端末の構築 – EESのインストール

- 「ESET LiveGrid(R)フィードバックシステム」の設定を選択します。
- 「次へ」をクリックします。



# 【構成例 1】ミラー端末の構築 – EESのインストール

- 望ましくない可能性があるアプリケーションの検出有無を選択します。
- 「インストール」をクリックします。
- 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



## 【構成例 1】ミラー端末の構築 – EESのインストール

- インストールが完了しますと、以下の画面が表示されます。
- 「完了」をクリックし、インストールを終了します。



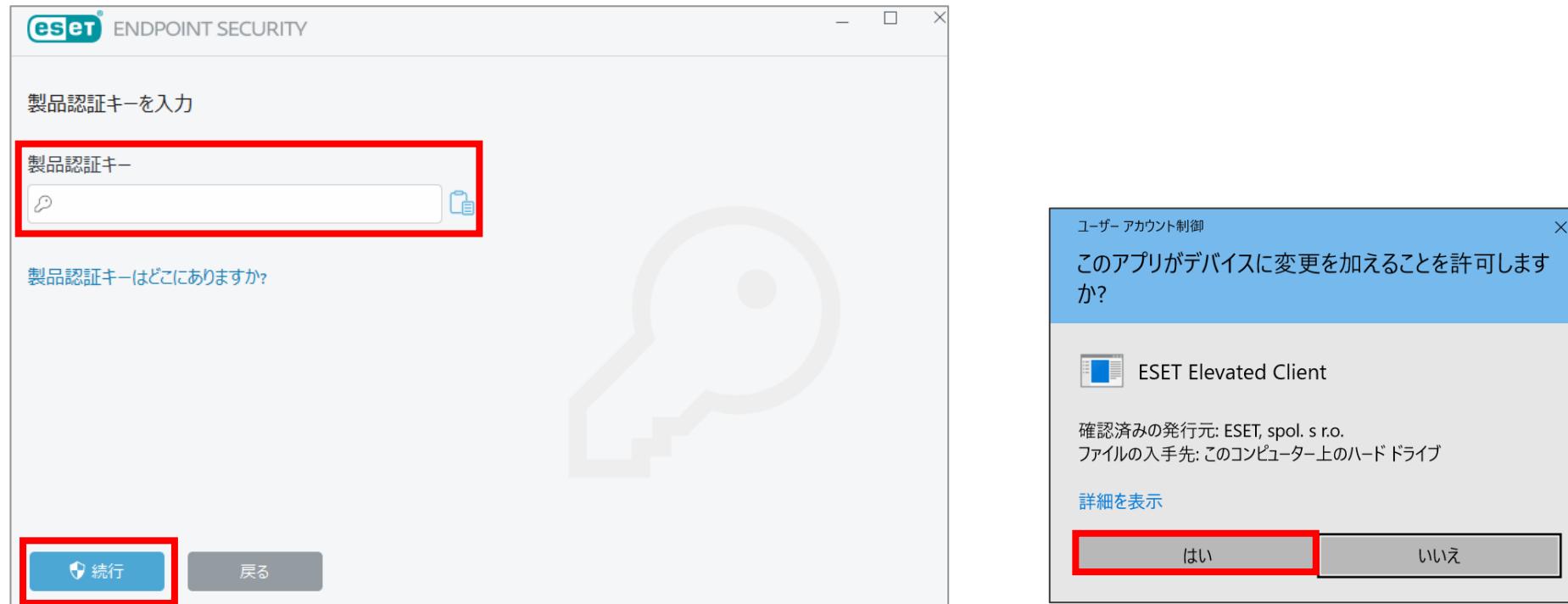
## 【構成例 1】ミラー端末の構築 – EESのインストール

- 以下の画面が表示されましたら、「購入した製品認証キーを使用」をクリックします。  
※プロキシサーバー経由でインターネットに接続する環境の場合は、先に下記内容を設定のうえ、アクティベーションを実施してください。  
▼設定内容：[設定]→[詳細設定]より、[ツール]→[プロキシサーバ]の項目を入力



# 【構成例 1】ミラー端末の構築 – EESのインストール

- P.6で確認した製品認証キーを入力します。
- 「続行」をクリックします。
- 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



## 【構成例 1】ミラー端末の構築 – EESのインストール

- ・「アクティベーションが成功しました」と表示されましたら、アクティベーションは完了しております。
- ・「完了」をクリックします。

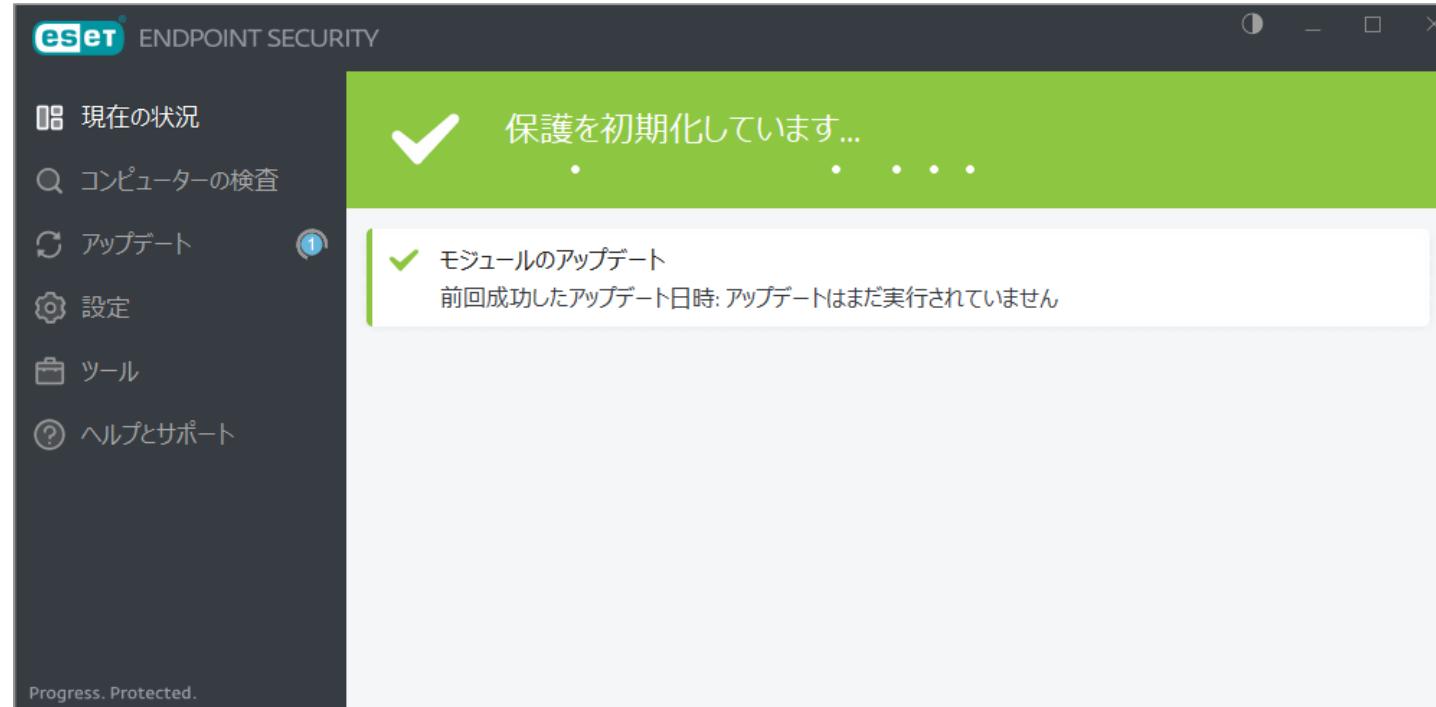
以上で、「EESのインストール」作業は完了です。



# 【構成例 1】ミラー端末の構築 – ミラー機能の有効化

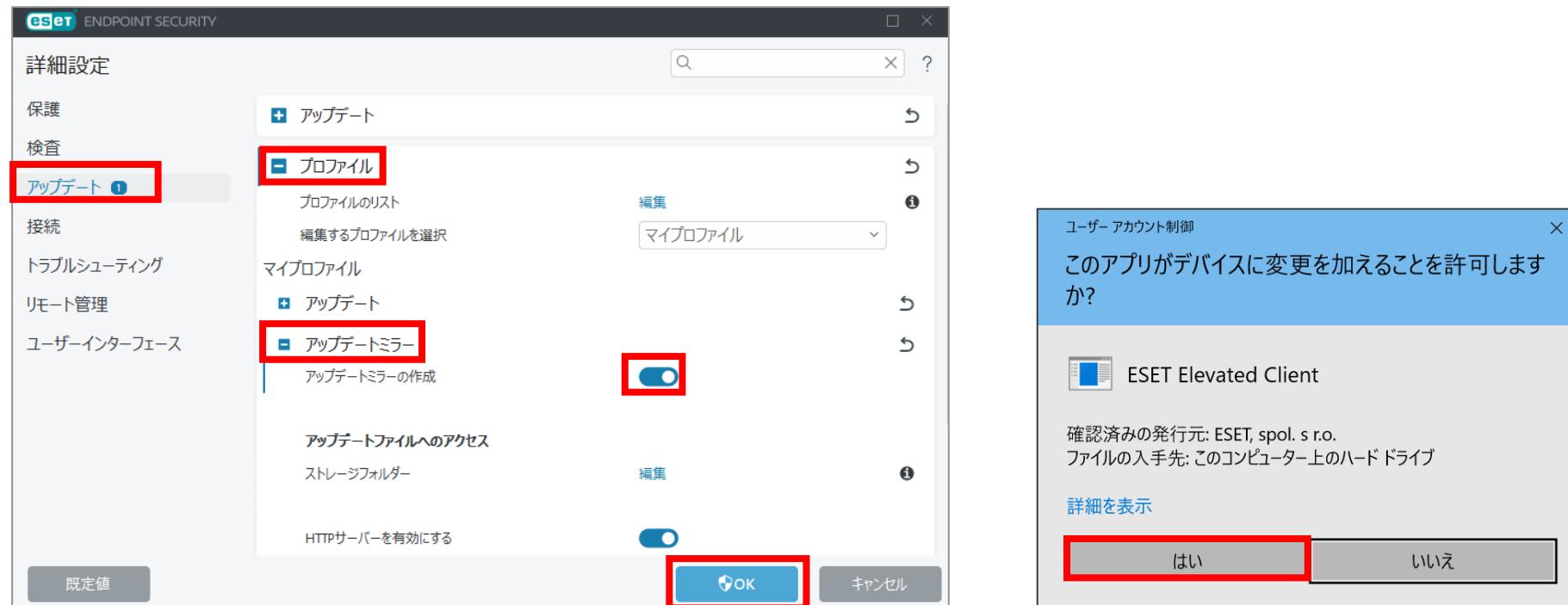
ミラー機能を有効化して、ミラー端末を構築します。

- ESET Endpoint Securityの画面を表示し、キーボードの「F5」キーを押して、詳細設定画面を表示します。



# 【構成例 1】ミラー端末の構築 – ミラー機能の有効化

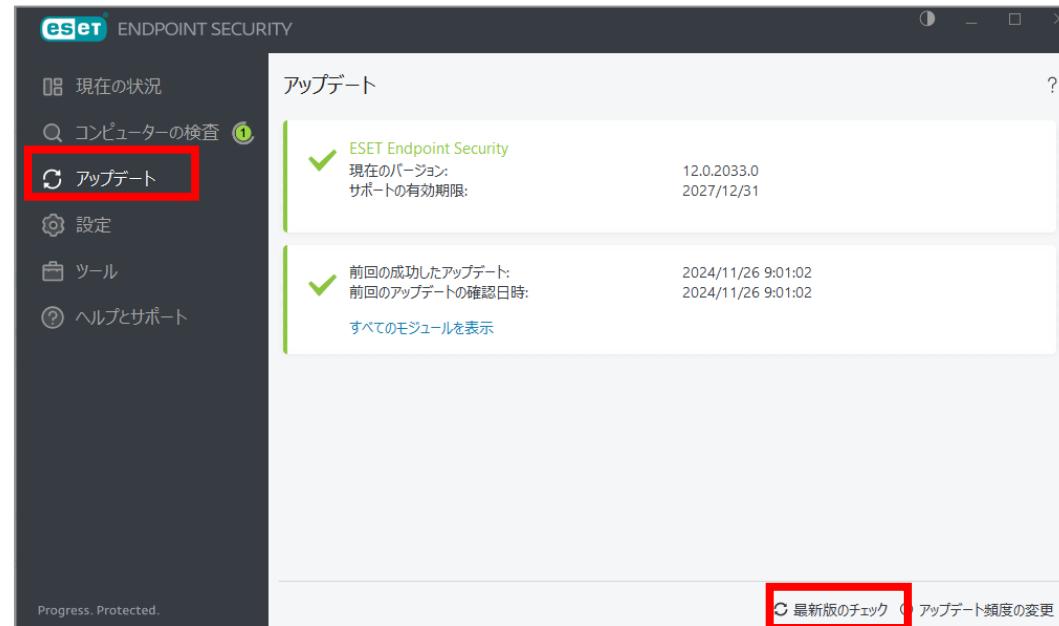
- 詳細設定画面の「アップデート」→「プロファイル」→「アップデートミラー」をクリックし、「アップデートミラーの作成」をオンにします。
- 「OK」をクリックします。
- 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



# 【構成例 1】ミラー端末の構築 – ミラー機能の有効化

- ESET Endpoint Securityの画面の「アップデート」→「最新版のチェック」をクリックし、検出エンジンをアップデートします。  
※アップデートが実行中の場合は、一度「アップデートのキャンセル」をクリックしてから、再度アップデートを行ってください。

以上で、「ミラー機能の有効化」作業は完了です。



# 【構成例 1】クライアントPCへの展開 -設定読み込み型インストーラーの作成

各端末へ展開するための設定読み込み型インストーラーを作成します。

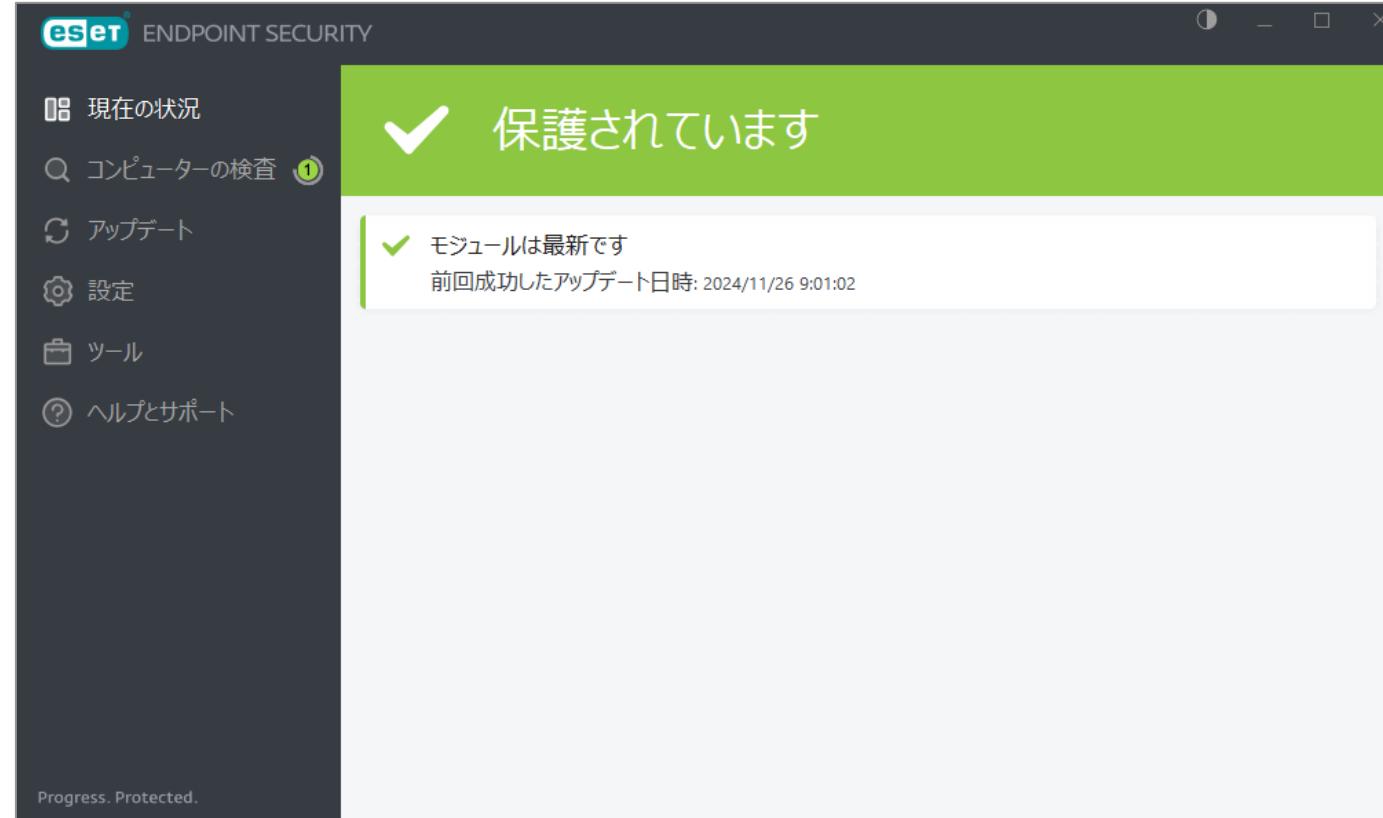
- P.7～P.15 の「ミラー端末の構築 - EESのインストール」と同様の手順で任意の端末1台にEESをインストールします。

**重要**

ESET Endpoint Securityをインストールする前に、他のウイルス対策ソフトがインストールされていないことを確認してください。2つ以上のウイルス対策ソフトが1台のコンピューターにインストールされていると、互いに競合し重大な問題が発生する場合がありますので、他のウイルス対策ソフトはアンインストールしてください。

# 【構成例 1】クライアントPCへの展開 -設定読み込み型インストーラーの作成

- ESET Endpoint Securityの画面を表示し、キーボードの「F5」キーを押して、詳細設定画面を表示します。



# 【構成例 1】クライアントPCへの展開 -設定読み込み型インストーラーの作成

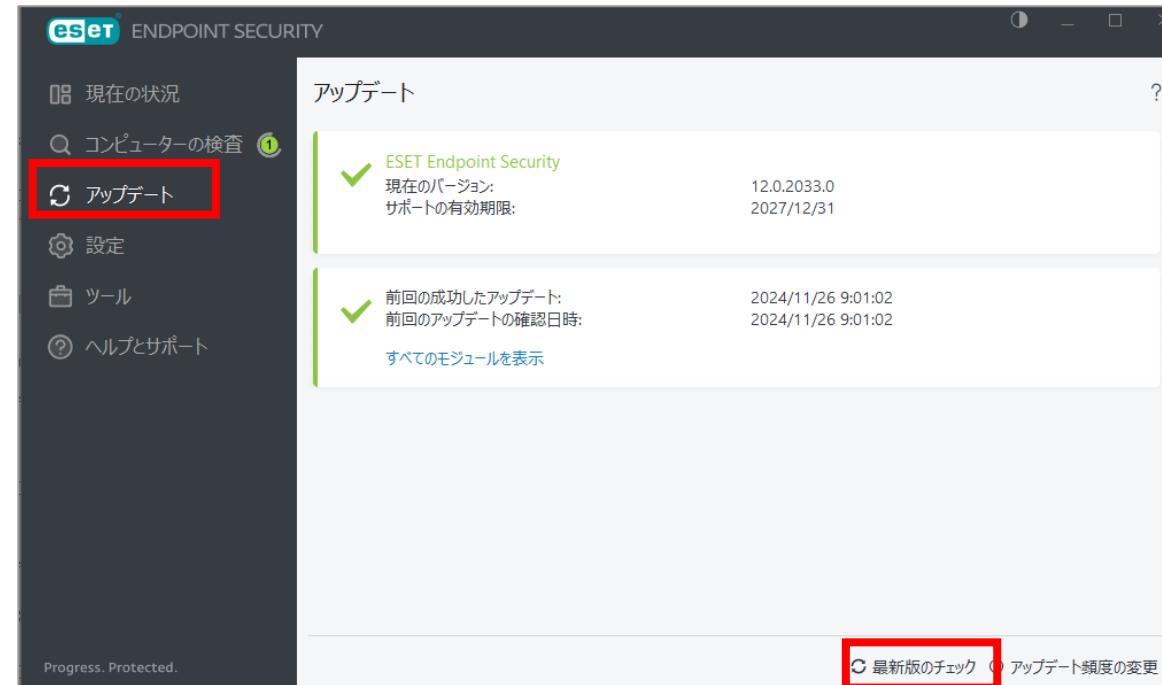
- 詳細設定画面の「アップデート」→「プロファイル」→「アップデート」をクリックし「モジュールアップデート」→「自動選択」をオフにします。
- 「カスタムサーバー」に「http://ミラー端末のIPアドレス:2221」を入力します。
- その他に変更する設定がある場合は、設定を変更します。  
※プロキシサーバーがある場合は、P13と同様に設定します。
- 「OK」をクリックします。
- 「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



# 【構成例 1】クライアントPCへの展開 -設定読み込み型インストーラーの作成

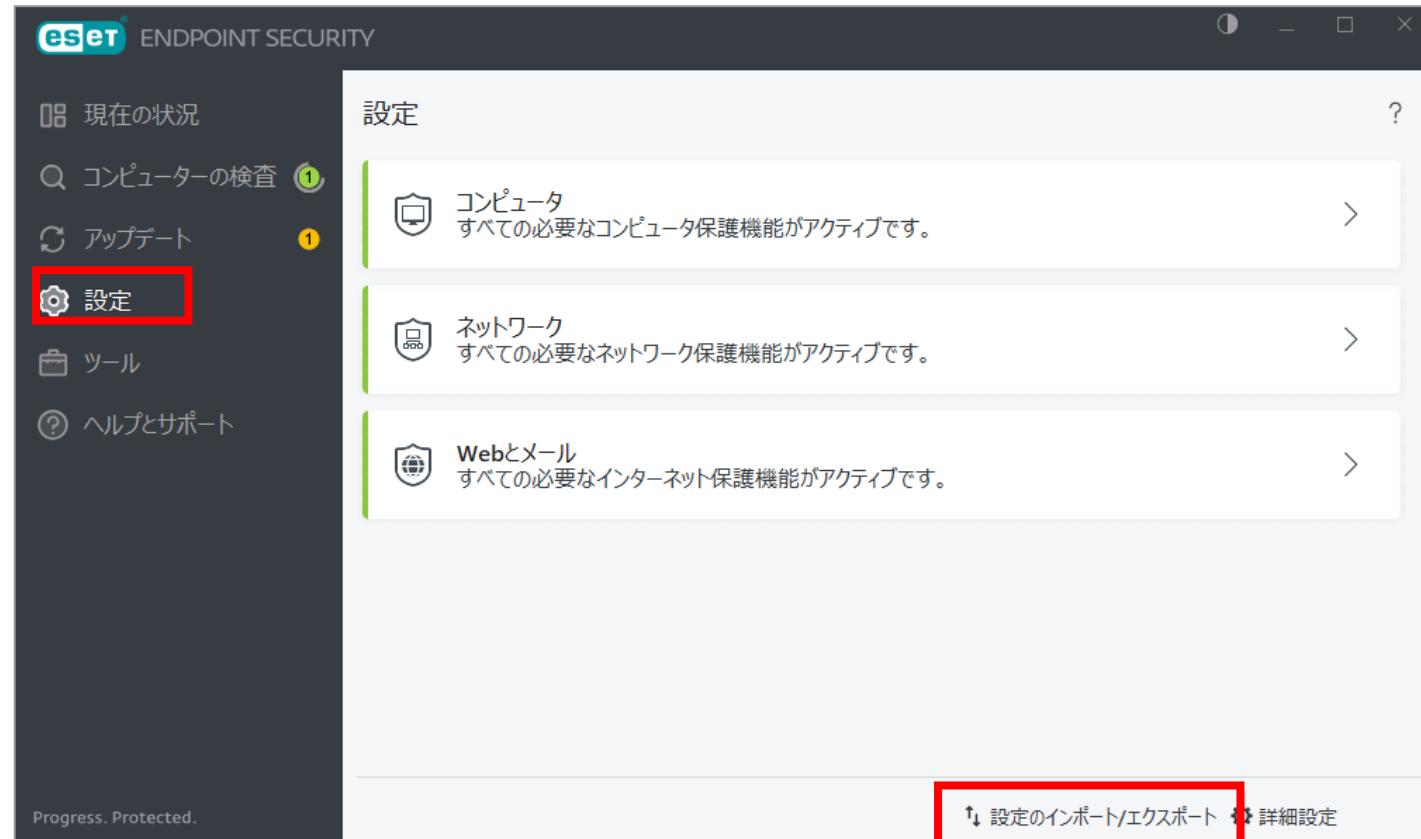
- ESET Endpoint Securityの画面の「アップデート」→「最新版のチェック」をクリックし、検出エンジンをアップデートし、ミラー端末からアップデートできることを確認します。

※アップデートが実行中の場合は、一度「アップデートのキャンセル」をクリックしてから、再度アップデートを行ってください。  
※「前回のアップデートの確認日時」が更新されていれば、アップデートは成功しております。



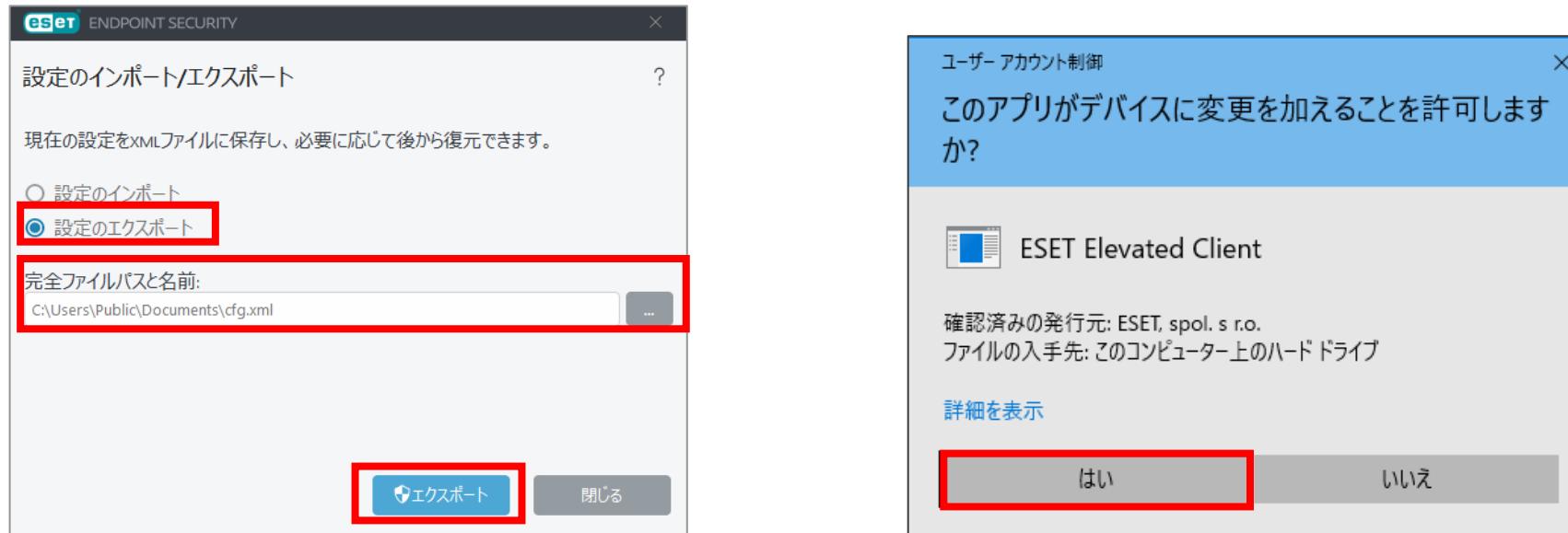
# 【構成例 1】クライアントPCへの展開 -設定読み込み型インストーラーの作成

- ESET Endpoint Securityの画面の「設定」→「設定のインポート/エクスポート」をクリックします。



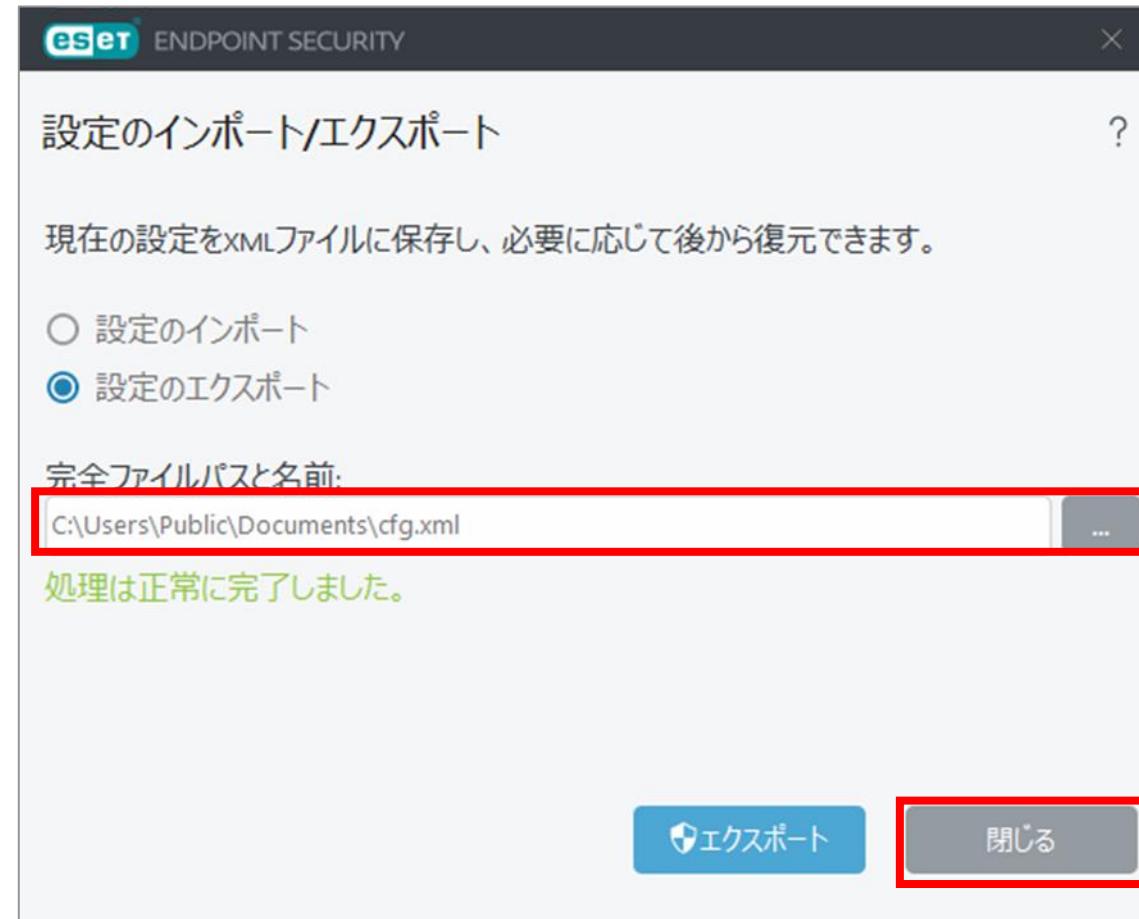
# 【構成例 1】クライアントPCへの展開 -設定読み込み型インストーラーの作成

- 「設定のエクスポート」にチェックを入れます。
- エクスポートする設定ファイルの完全ファイルパスとファイル名を入力します。  
※設定ファイルは読み込み型インストーラーで使用するため、必ずファイル名を「**cfg.xml**」としてください。
- 「エクスポート」をクリックします。
- 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



# 【構成例 1】クライアントPCへの展開 -設定読み込み型インストーラーの作成

- 「処理は正常に完了しました。」と表示されましたら、「閉じる」をクリックします。



# 【構成例 1】クライアントPCへの展開 -設定読み込み型インストーラーの作成

- メモ帳などを開き、以下のコマンドを入力して、バッチファイルとしてbat形式で任意の名前を付けて保存します。(例 : setupees.bat)
- 入力コマンド : msiexec /i ees\_nt64\_full\_JPN.msi /qb!
  - ※入力コマンドの詳細については下記のサポートページを参照してください。  
[https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/20?site\\_domain=business](https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/20?site_domain=business)
- 「ESET Endpoint Security V12.X」のインストーラー(ees\_nt64\_full\_JPN.msi)、設定ファイル(cfg.xml)、バッチファイル(setupees.bat)を1つのファルダーに保存します。

以上で、「設定読み込み型インストーラーの作成」作業は完了です。



# 【構成例 1】クライアントPCへの展開 -各端末でのインストーラー実行

作成した設定読み込み型インストーラーを各端末で実行し、EESをインストールします。

- 作成したフォルダー(設定読み込み型インストーラー)を各端末のデスクトップなどにコピーします。
- コピーしたフォルダーを開き、バッチファイル(setupees.bat)をダブルクリックします。
- 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。

**重要**

ESET Endpoint Securityをインストールする前に、他のウイルス対策ソフトがインストールされていないことを確認してください。2つ以上のウイルス対策ソフトが1台のコンピューターにインストールされていると、互いに競合し重大な問題が発生する場合がありますので、他のウイルス対策ソフトはアンインストールしてください。



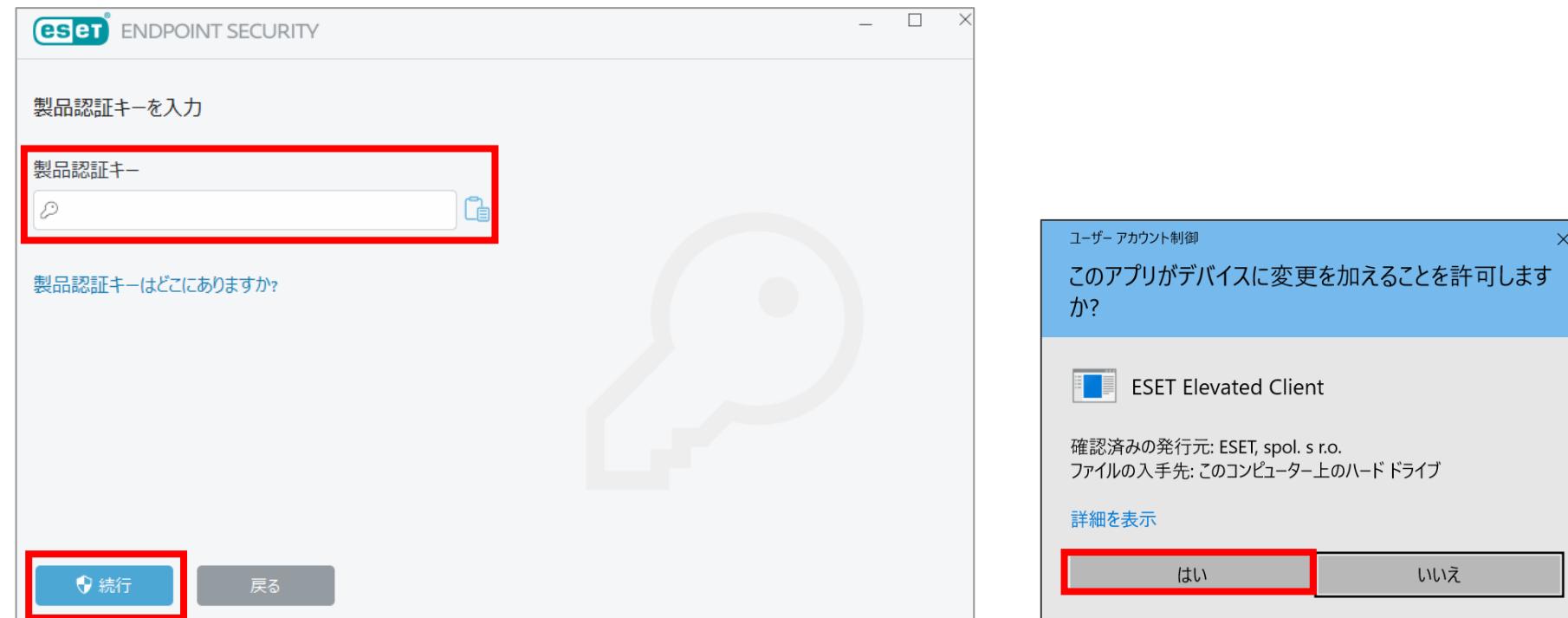
# 【構成例 1】クライアントPCへの展開 -各端末でのインストーラー実行

- 以下の画面が表示されましたら、「購入した製品認証キーを使用」をクリックします。



# 【構成例 1】クライアントPCへの展開 -各端末でのインストーラー実行

- P.6で確認した製品認証キーを入力します。
- 「続行」をクリックします。
- 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



# 【構成例 1】クライアントPCへの展開 -各端末でのインストーラー実行

- ・「アクティベーションが成功しました」と表示されましたら、アクティベーションは完了しております。
- ・「完了」をクリックします。

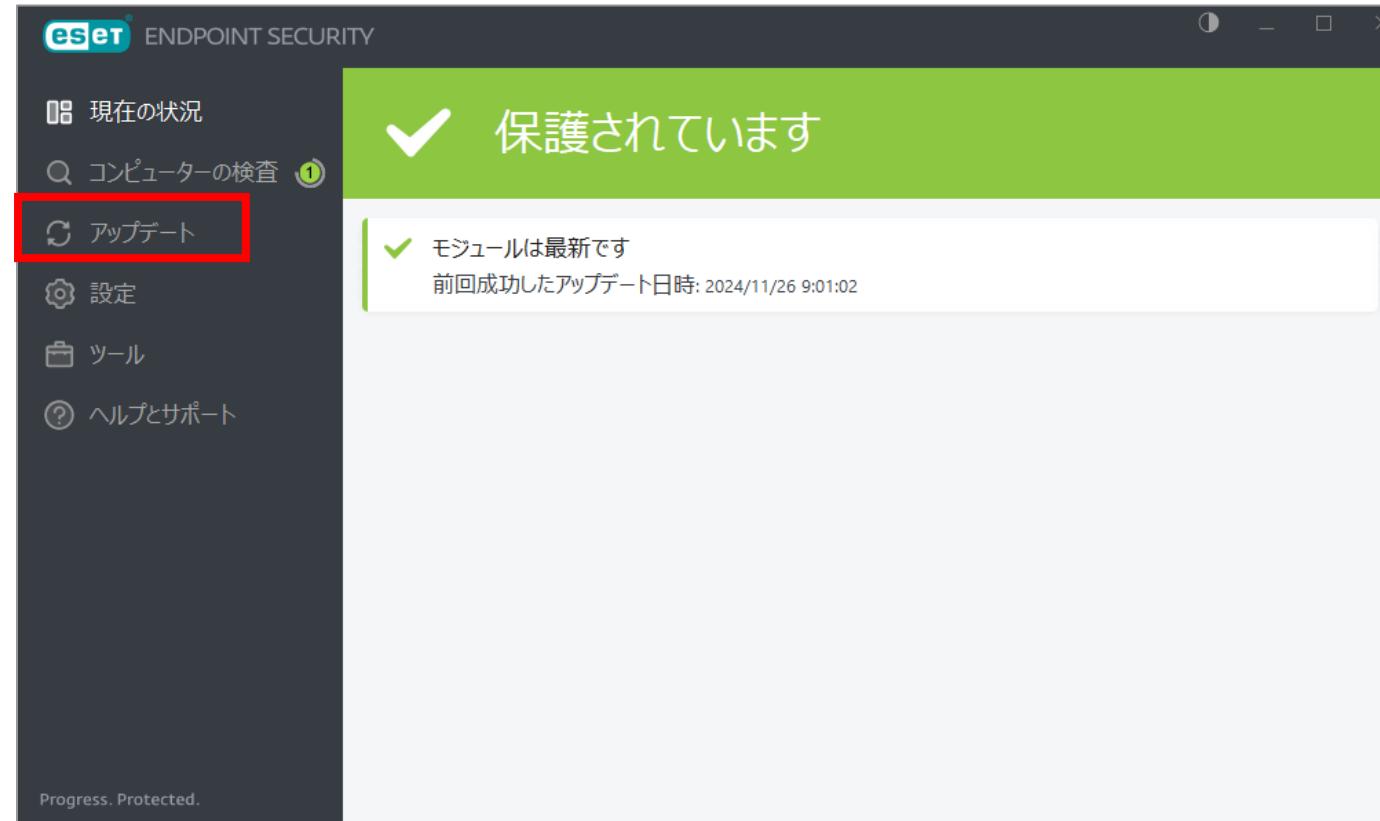
以上で、「各端末でのインストーラー実行」作業は完了です。



# 【構成例 1】クライアントPCの確認

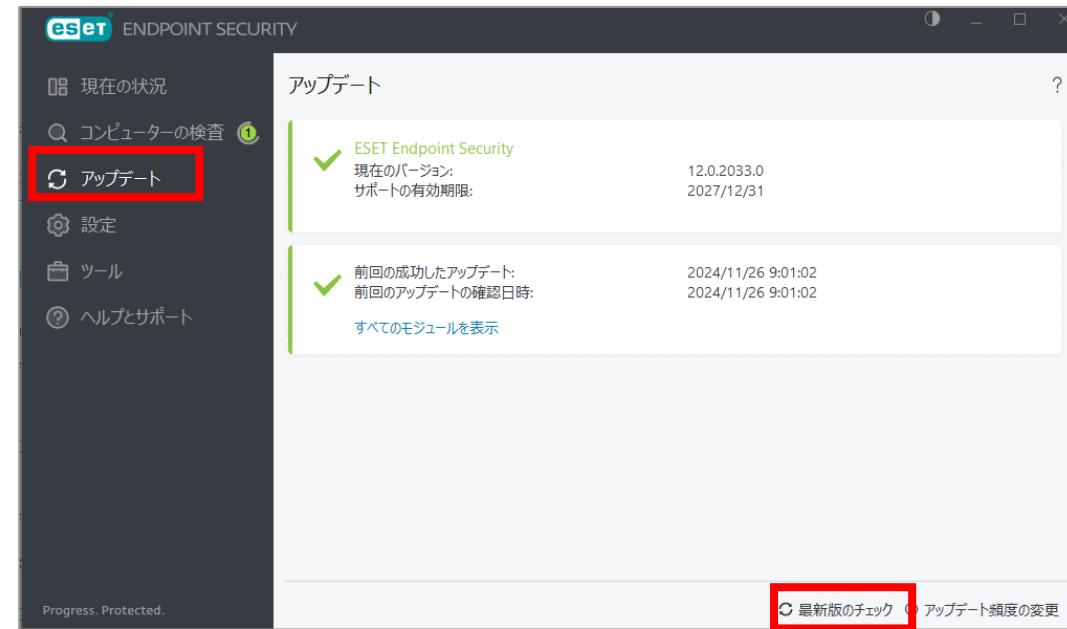
環境構築作業の確認として、各クライアントPCで確認を行います。

- ESET Endpoint Securityの画面を表示し、「アップデート」をクリックします。



# 【構成例 1】クライアントPCの確認

- 「最新版のチェック」をクリックし、検出エンジンをアップデートし、ミラー端末からアップデートできることを確認します。  
※アップデートが実行中の場合は、一度「アップデートのキャンセル」をクリックしてから、再度アップデートを行ってください。  
※「前回のアップデートの確認日時」が更新されていれば、アップデートは成功しております。



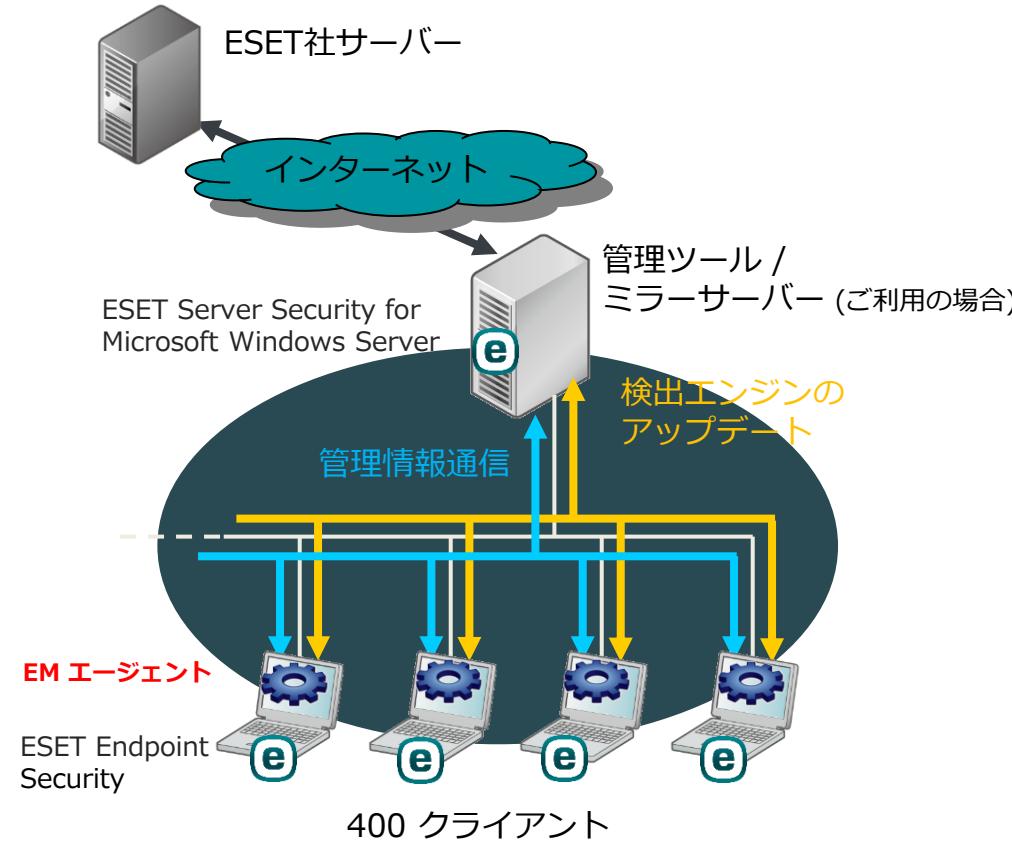
以上で、構成例 1 の構築作業は終了となります。

# 【構成例 2】環境イメージ

## 構成例 2

- ・管理機能あり
- ・ミラーツールを利用

※ミラーサーバーを利用されない場合でも本手順にて構築いただけます



### 構成

- ・1台のサーバー機で管理機能とミラー機能を運用  
※専用サーバーを推奨  
※ミラー機能はご利用の場合のみ

### サーバー スペック

- ・CPU : 2コア以上
- ・メモリ : 4GB以上
- ・HDD : 50GB以上
- ・ネットワークアダプタ : 1Gbps

### サーバーの 利用プログラム

- ・ウイルス対策 : ESET Server Security for Microsoft Windows Server V12.X
- ・ミラー機能 : ミラーツール ※ご利用の場合のみ
- ・管理機能 : ESET PROTECT on-prem V13.X
- ・EP on-premとの通信 : ESET Management エージェント V12.5以降
- ・データベース : MS SQL Express(既定)

### クライアントPCの 利用プログラム

- ・ウイルス対策 : ESET Endpoint Security V12.X
- ・EP on-premとの通信 : ESET Management エージェント V12.5以降

### クライアント数の 目安

- ・400クライアントまで

## 【構成例 2】環境イメージ

### 事前準備



- ・環境構築時に必要な情報の確認

### サーバーの構築



- ・ESSWのインストール
- ・ミラーサーバーの構築 ※ご利用の場合のみ
- ・セキュリティ管理ツールの構築

### クライアントPCへの展開



- ・ミラーサーバーに接続するポリシーの作成 ※ご利用の場合のみ
- ・オールインワンインストーラーの作成
- ・オールインワンインストーラーの実行

### 管理するクライアントPCの確認

## 【構成例 2】事前準備 - 環境構築時に必要な情報確認

以下のURLからユーザーズサイトにログインします。

- **ユーザーズサイト** : <https://canon-its.jp/product/eset/users/>

※ログインには、シリアル番号およびユーザーズサイトパスワードが必要です。

環境の構築に必要なライセンス情報およびプログラムをダウンロードします。

### ➤ ESET Server Security for Microsoft Windows Server V12.X

※「プログラム/マニュアル」→「クライアント用プログラム」→「基本的/総合的なエンドポイント保護」→「Windows Server 向けプログラム」に進み、環境にあったESSWをダウンロードしてください。

※本手順では「フルモジュールインストーラー」を利用します。

### ➤ ESET PROTECT on-prem

※「プログラム/マニュアル」→「オンプレミス型セキュリティ管理ツール（ESET PROTECT on-prem）」→「ESET PROTECT on-prem」に進み、環境にあったEP on-premのオールインワンインストーラーをダウンロードしてください。

### ➤ 製品認証キー

※「ライセンス情報/申込書作成」に進み、アクティベーション情報配下にある「製品認証キー」の情報を確認してください。

### ➤ ミラーツール（※ミラーサーバーを構築される場合のみ）

※「プログラム/マニュアル」→「オプション(各種ツール)」に進み、環境にあったミラーツールをダウンロードしてください。

## 【構成例 2】サーバーの構築 - ESSWのインストール

サーバーに「ESET Server Security for Microsoft Windows Server V12.X」のインストールを行います。

サーバー上で、「ESET Server Security for Microsoft Windows Server V12.X」のインストーラーをダブルクリックします。

**重要**

ESET Server Security for Microsoft Windows Serverをインストールする前に、他のウイルス対策ソフトがインストールされていないことを確認してください。2つ以上のウイルス対策ソフトが1台のコンピューターにインストールされていると、互いに競合し重大な問題が発生する場合がありますので、他のウイルス対策ソフトはアンインストールしてください。



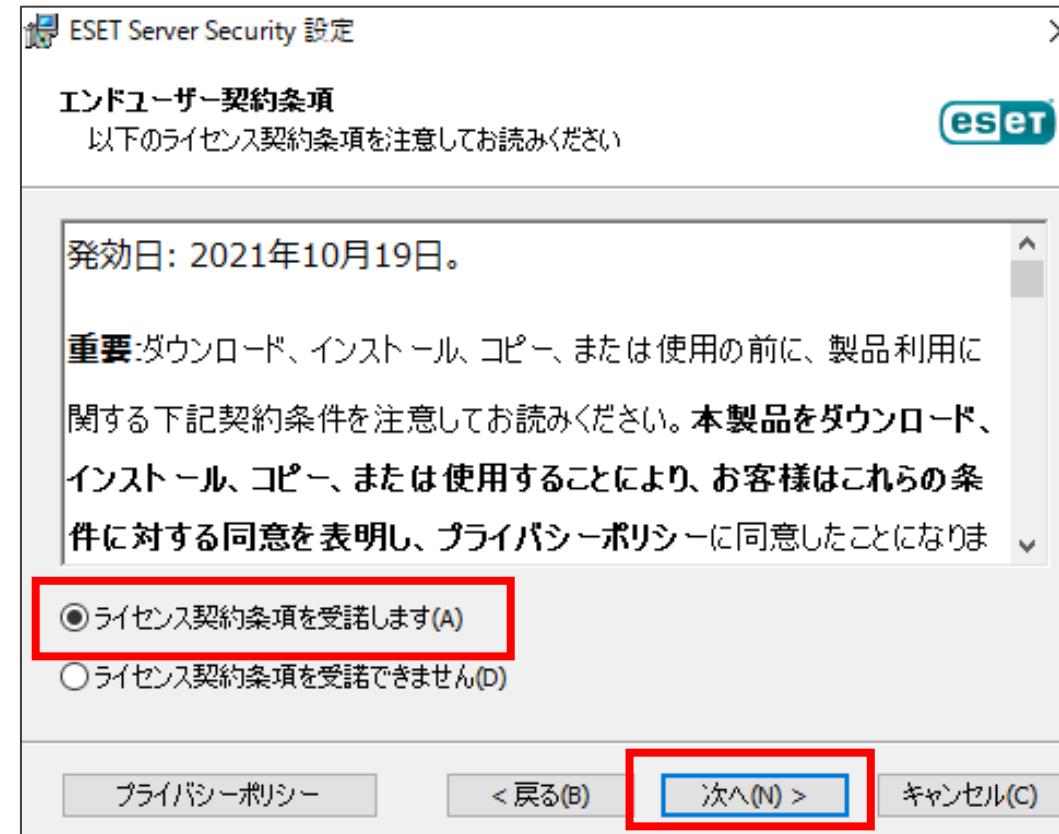
## 【構成例 2】サーバーの構築 - ESSWのインストール

- ESET Server Security セットアップウィザードが表示されましたら、「次へ」をクリックします。



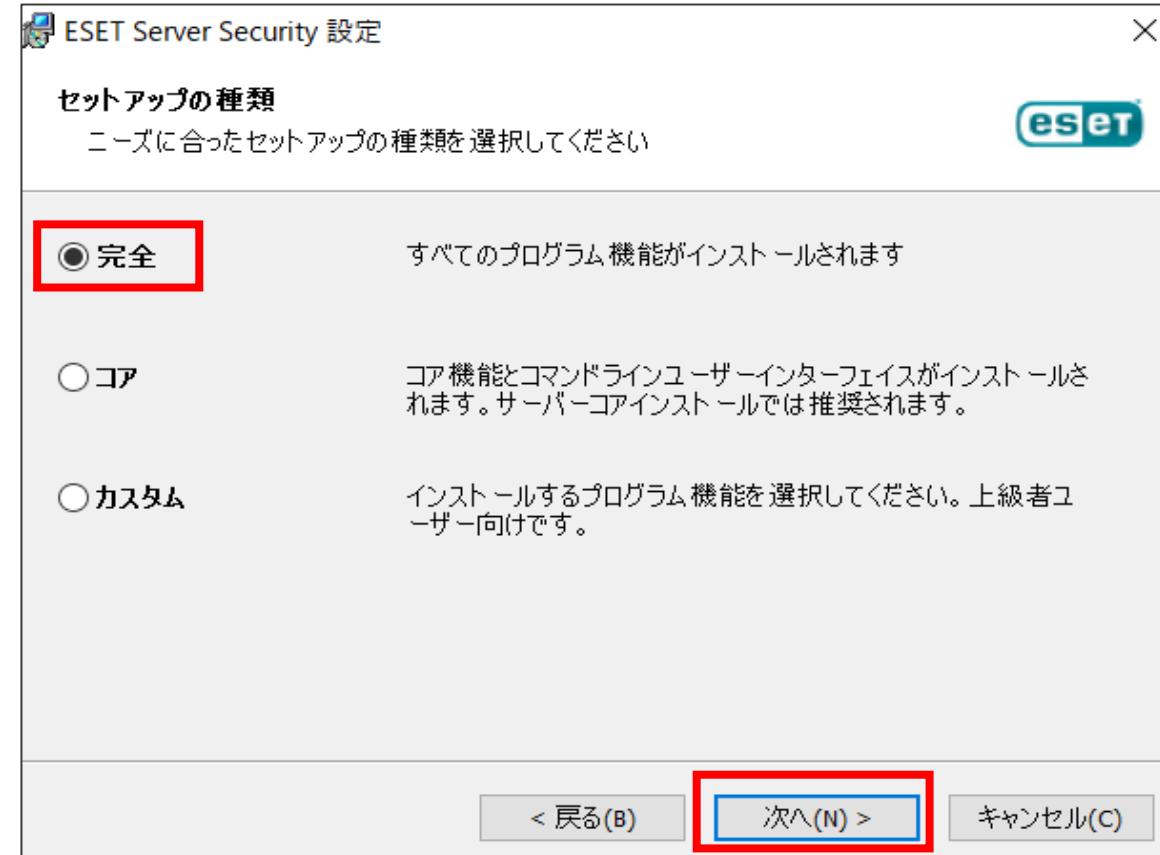
## 【構成例 2】サーバーの構築 - ESSWのインストール

- エンドユーザー契約条項で「ライセンス契約条項を受諾します」を選択します。
- 「次へ」をクリックします。



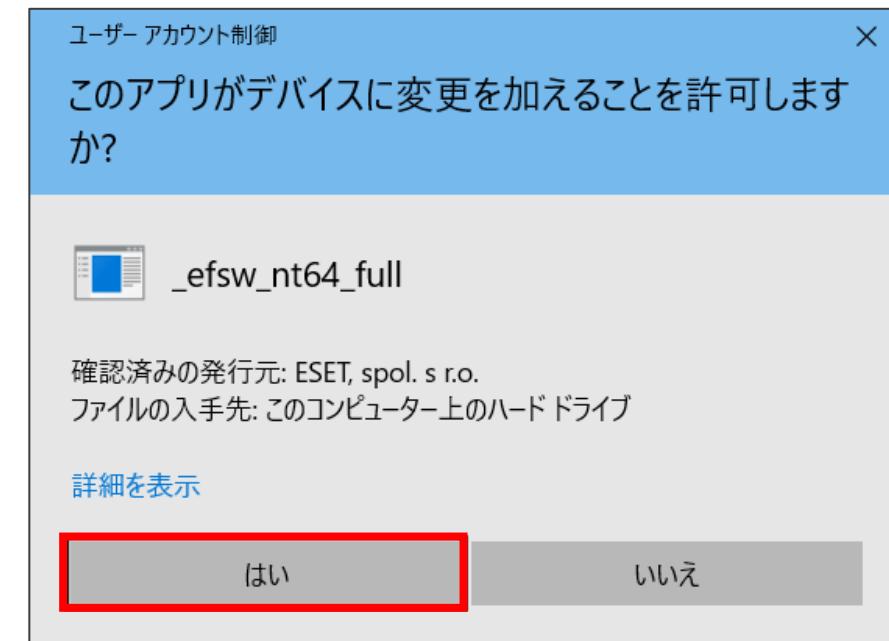
## 【構成例 2】サーバーの構築 - ESSWのインストール

- ・ セットアップの種類で「完全」を選択します。
- ・ 「次へ」をクリックします。



## 【構成例 2】サーバーの構築 - ESSWのインストール

- インストールフォルダは既定値のままに設定し、「インストール」をクリックします。
- 「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



## 【構成例 2】サーバーの構築 - ESSWのインストール

- インストールが完了しますと、以下の画面が表示されます。
- 「完了」をクリックし、インストールを終了します。



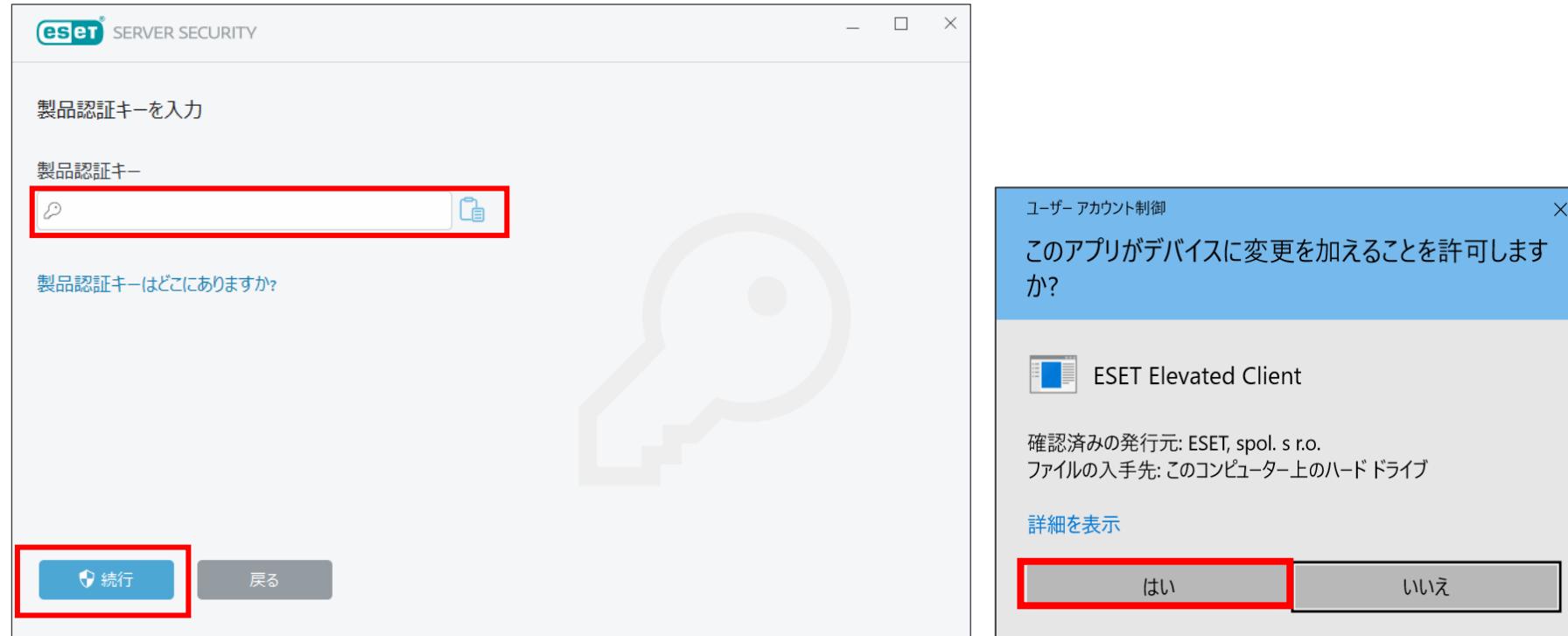
## 【構成例 2】サーバーの構築 - ESSWのインストール

- 以下の画面が表示されましたら、「購入した製品認証キーを使用」をクリックします。  
※プロキシサーバー経由でインターネットに接続する環境の場合は、先に下記設定を行ったうえ、アクティベーションを実施してください。  
設定：[設定]→[詳細設定]より、[ツール]→[プロキシサーバ]へ入力



## 【構成例 2】サーバーの構築 - ESSWのインストール

- ・ 製品認証キーを入力し、「続行」をクリックします。
- ・ 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



## 【構成例 2】サーバーの構築 - ESSWのインストール

- 「アクティベーションが成功しました」と表示されましたら、アクティベーションは完了しております。
- 「完了」をクリックします。



## 【構成例 2】サーバーの構築 - ESSWのインストール

- ESET Server Security for Microsoft Windows Serverの画面を表示します。
- 望ましくない可能性があるアプリケーションの検出有無を選択し、「OK」をクリックします。
- 「ESET LiveGrid®フィードバックシステムの「有効(推奨)」にチェックをし、「OK」をクリックします。
- 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



## 【構成例 2】サーバーの構築 - ミラーサーバーの構築

サーバーに「ミラーツール」をインストールし、ミラーサーバーを構築します。

※ミラーサーバーを構築されない場合は本手順をスキップし、p47へお進みください

- ・ サーバーにミラーツール(V12用)を構築します。

※ミラーツールの構築方法については以下URLをご参照ください。

Windows Server環境でミラーツールを使用してミラーサーバーを構築するには?

[https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/4341?site\\_domain=business](https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/4341?site_domain=business)

以上で、「ミラーサーバーの構築」作業は終了です。

## 【構成例 2】サーバーの構築 - セキュリティ管理ツールの構築

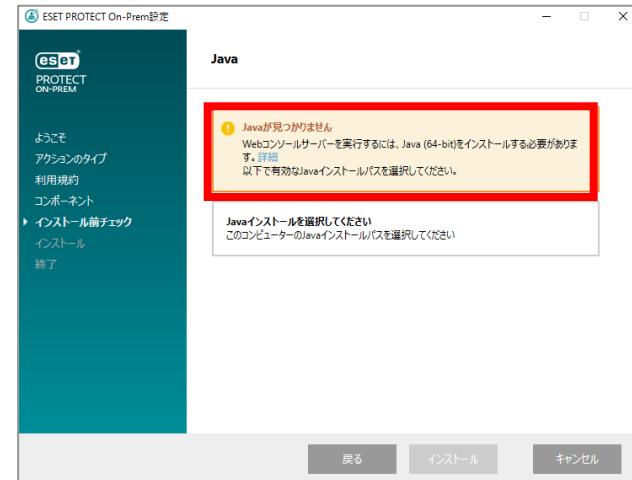
サーバーに「ESET PROTECT on-prem」をインストールし、セキュリティ管理ツールを構築します。

- インストール作業を行う前に、事前に「64bit版のJava」および「.NET Framework 4.7.2以降」をインストールしてください。

※インストールされていない場合、ESET PROTECT on-prem をインストール途中で、以下のような画面が表示されますので、表示された場合は上記のミドルウェアをインストール後、「再試行」をクリックしてください。

※Javaに関しては、有償版JREまたは無償版JDKであるAmazon Correttoの使用を推奨しております。

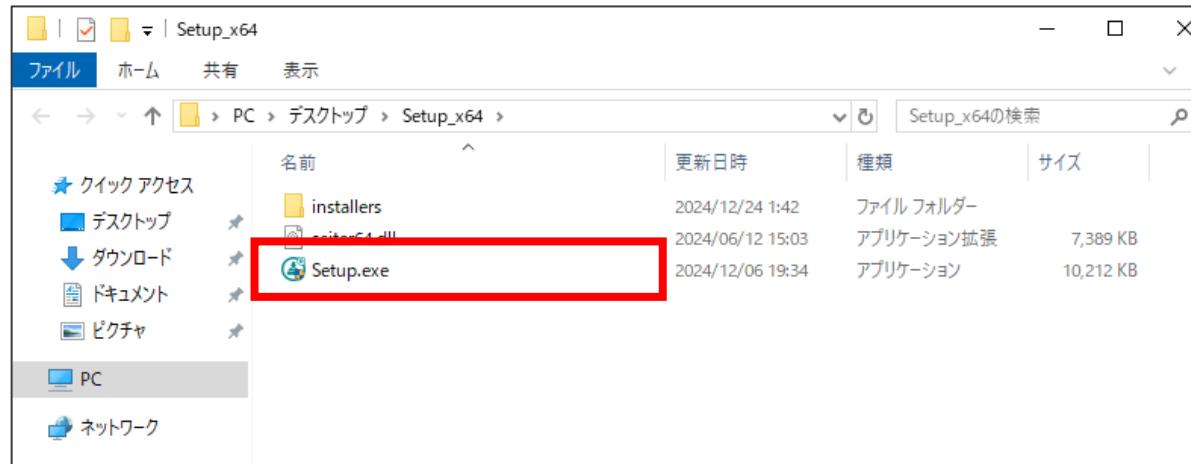
Amazon Correttoのインストール方法、サポート対象のバージョンについては以下URLをご参照ください。



【構築手順】Windows Server環境で、オープンソースJDKを利用してセキュリティ管理ツールをインストールするには？  
[https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/13029?site\\_domain=business](https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/13029?site_domain=business)

## 【構成例 2】サーバーの構築 - セキュリティ管理ツールの構築

- 事前準備で用意した「Setup\_x64.zip」を展開します。
- 「Setup.exe」をダブルクリックし、「ESET PROTECT on-prem」のオールインワンインストーラーを起動します。
- 「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



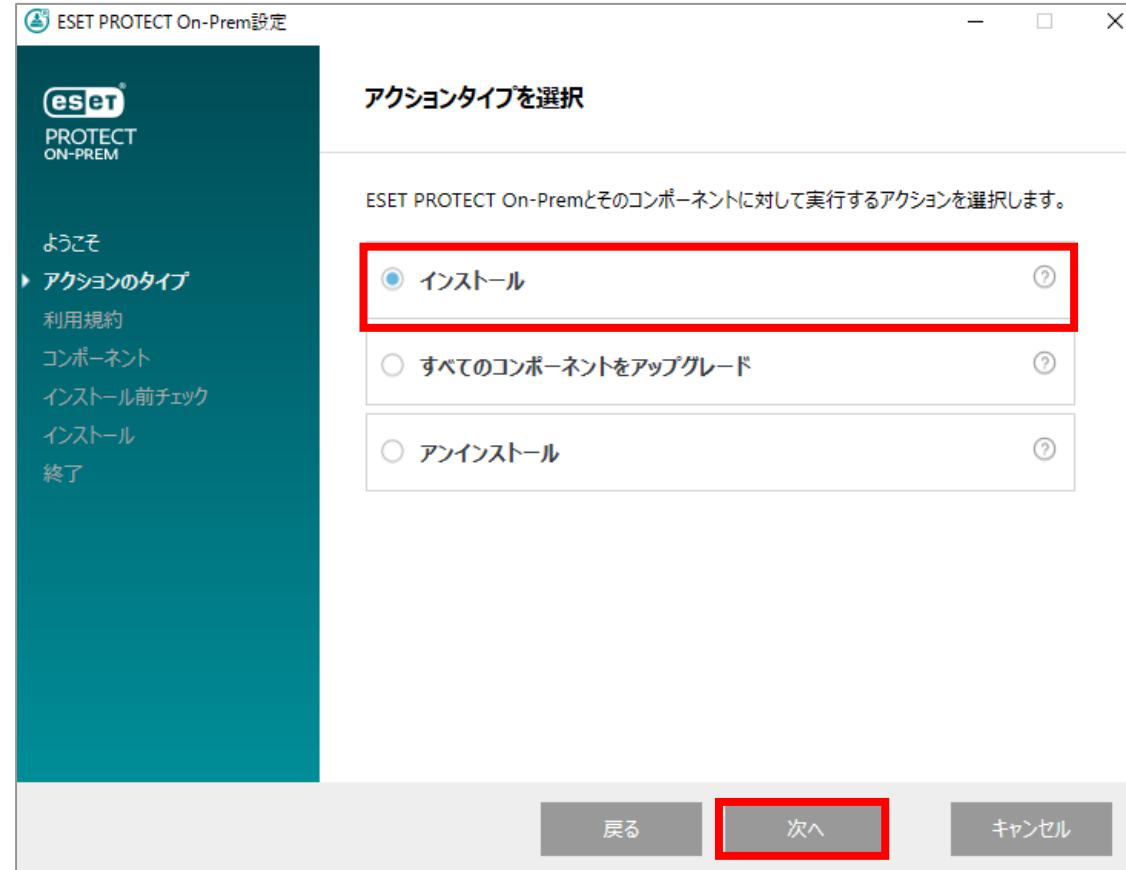
## 【構成例 2】サーバーの構築 - セキュリティ管理ツールの構築

- ESET PROTECT セットアップが表示されたら、言語を「日本語」にします。
- 「次へ」をクリックします。



## 【構成例 2】サーバーの構築 - セキュリティ管理ツールの構築

- 「インストール」を選択します。
- 「次へ」をクリックします。



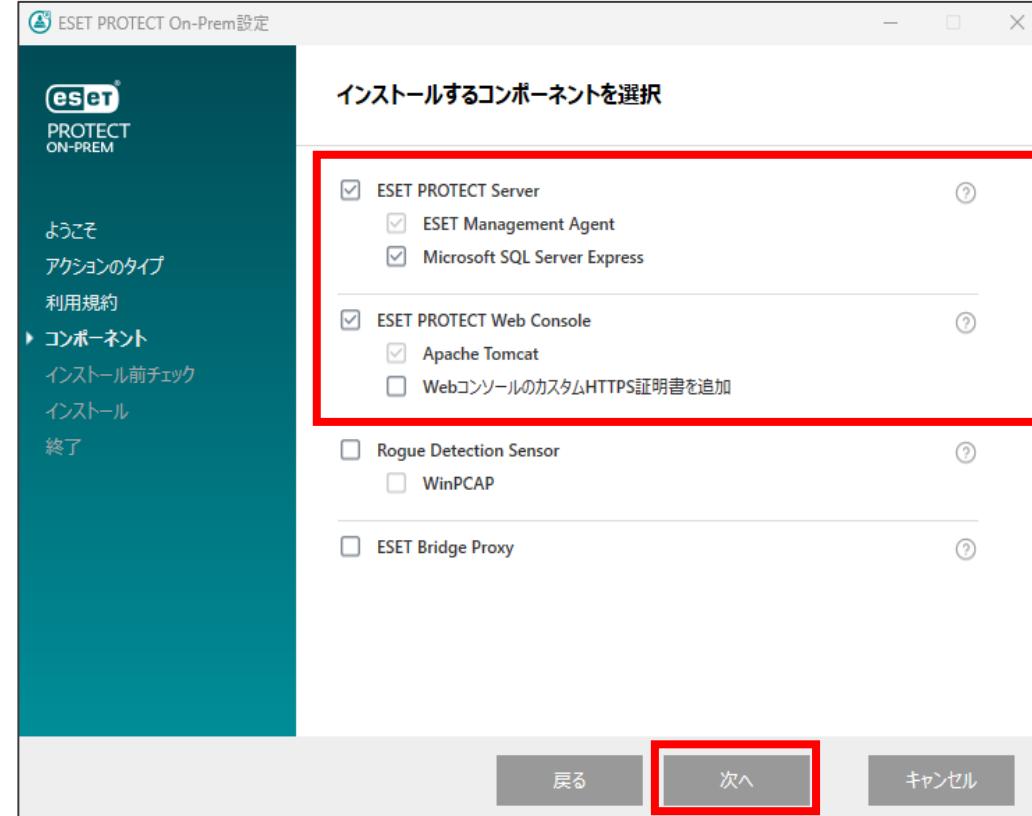
## 【構成例 2】サーバーの構築 - セキュリティ管理ツールの構築

- エンドユーザー ライセンス契約で「ライセンス契約の条件に同意します」を選択します。
- 「次へ」をクリックします。



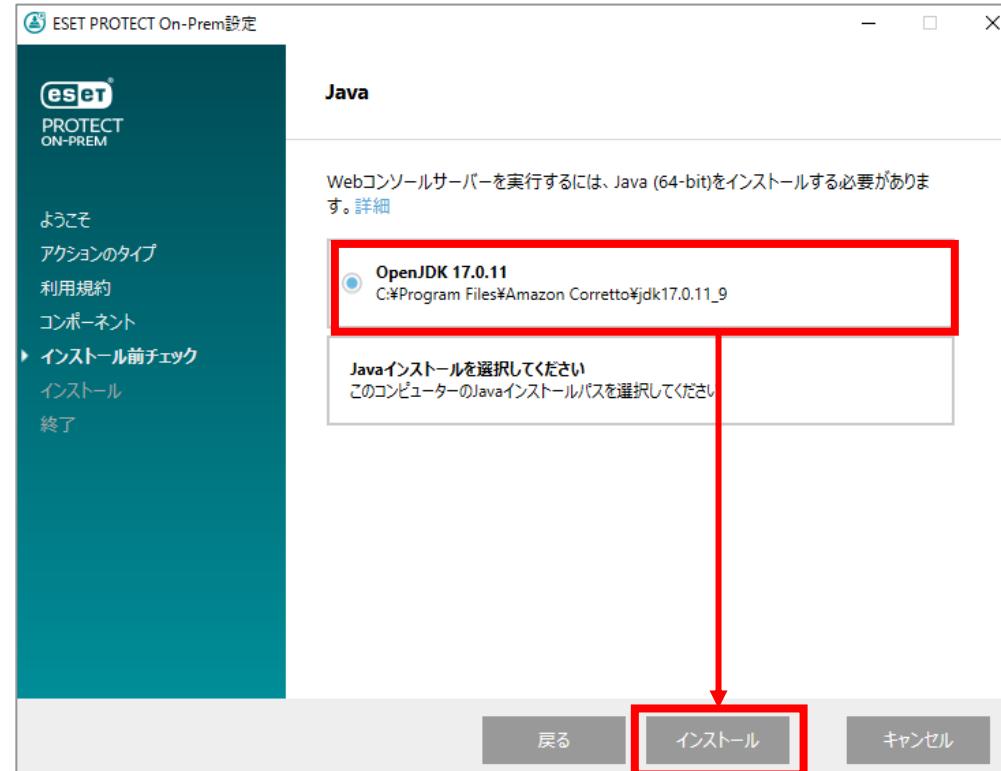
## 【構成例 2】サーバーの構築 - セキュリティ管理ツールの構築

- 「Rogue Detection Sensor」と「ESET Bridge Proxy」のチェックを外します。  
「次へ」をクリックします。



## 【構成例 2】サーバーの構築 - セキュリティ管理ツールの構築

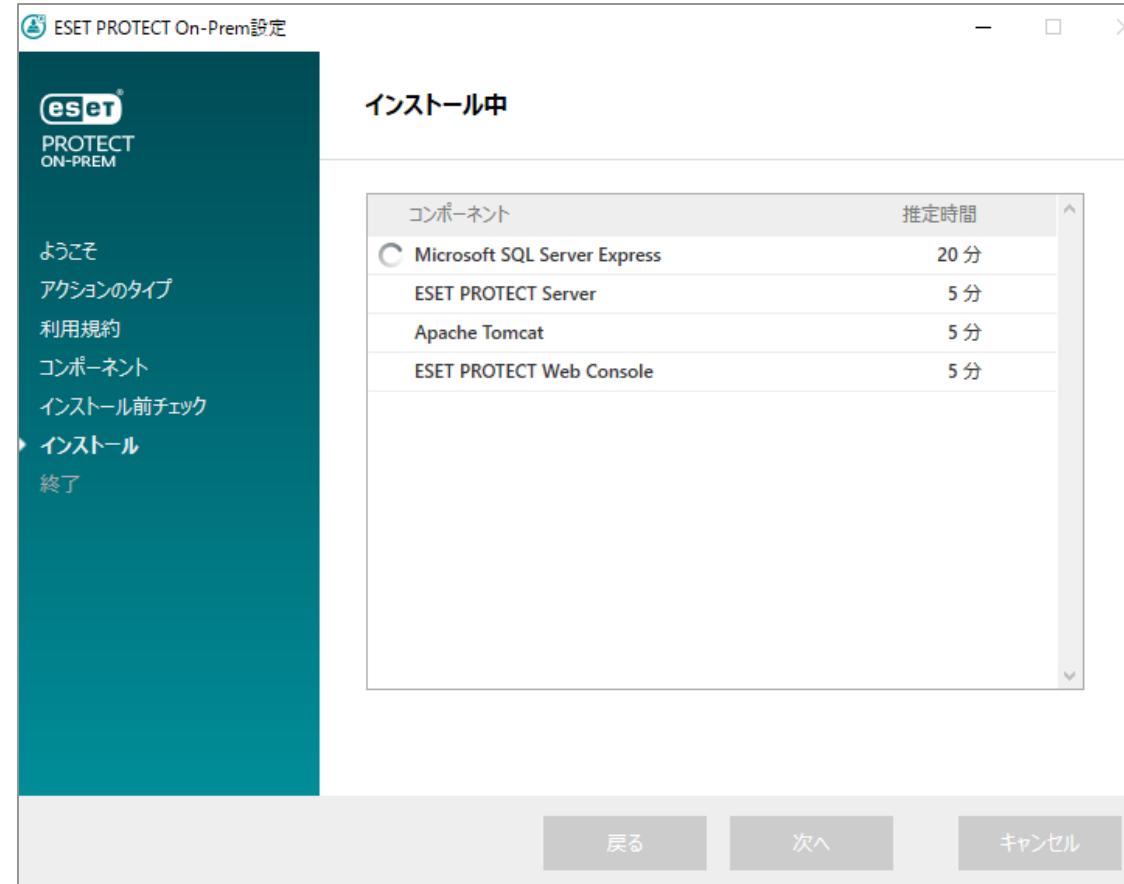
- Webコンソールで使用する64bit版のJavaを選択し、インストールをクリックします。  
※Amazon Correttoのインストール方法については以下URLをご参照ください。



【構築手順】Windows Server環境で、オープンソースJDKを利用してセキュリティ管理ツールをインストールするには?  
[https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/13029?site\\_domain=business](https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/13029?site_domain=business)

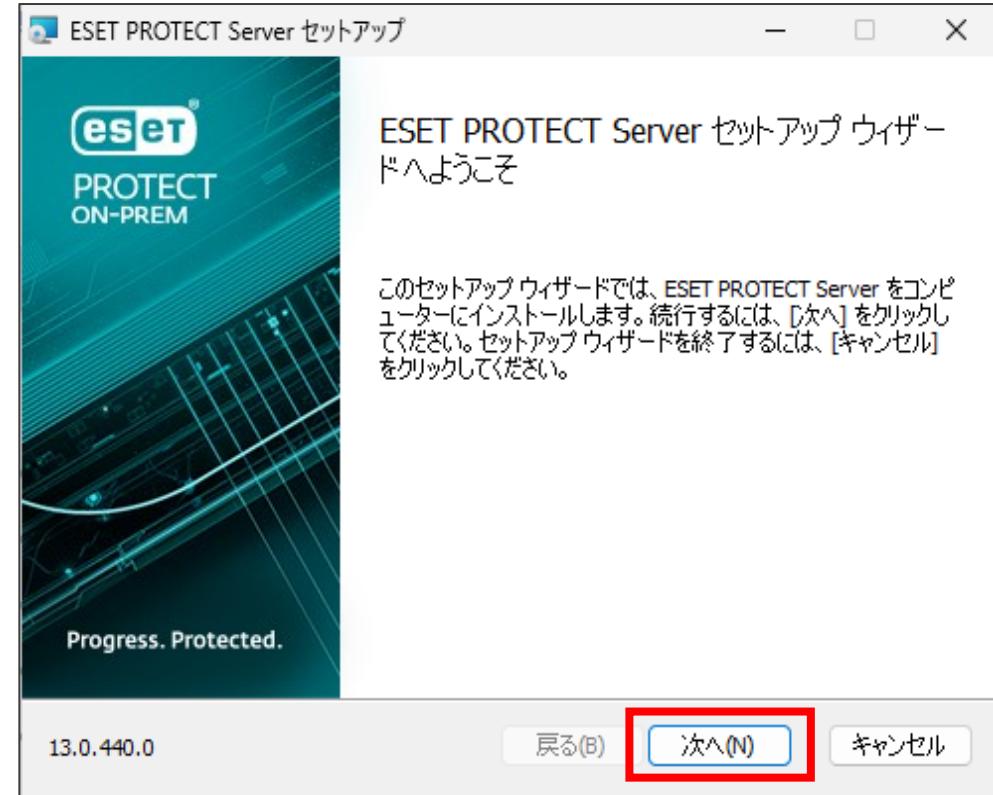
## 【構成例 2】サーバーの構築 - セキュリティ管理ツールの構築

- インストールが始まると、以下の画面が表示されます。



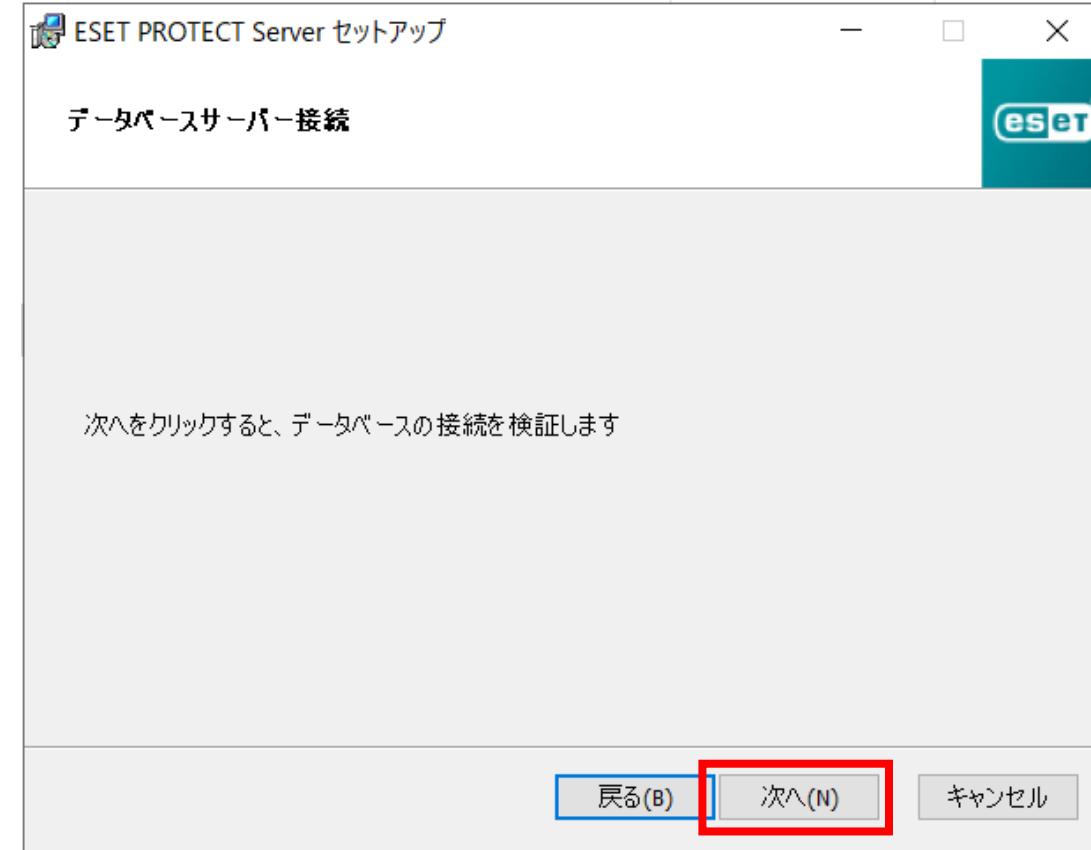
## 【構成例 2】サーバーの構築 - セキュリティ管理ツールの構築

- ESET PROTECT セットアップウィザードが表示されたら、「次へ」をクリックします。



## 【構成例 2】サーバーの構築 - セキュリティ管理ツールの構築

- データベースサーバー接続画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。

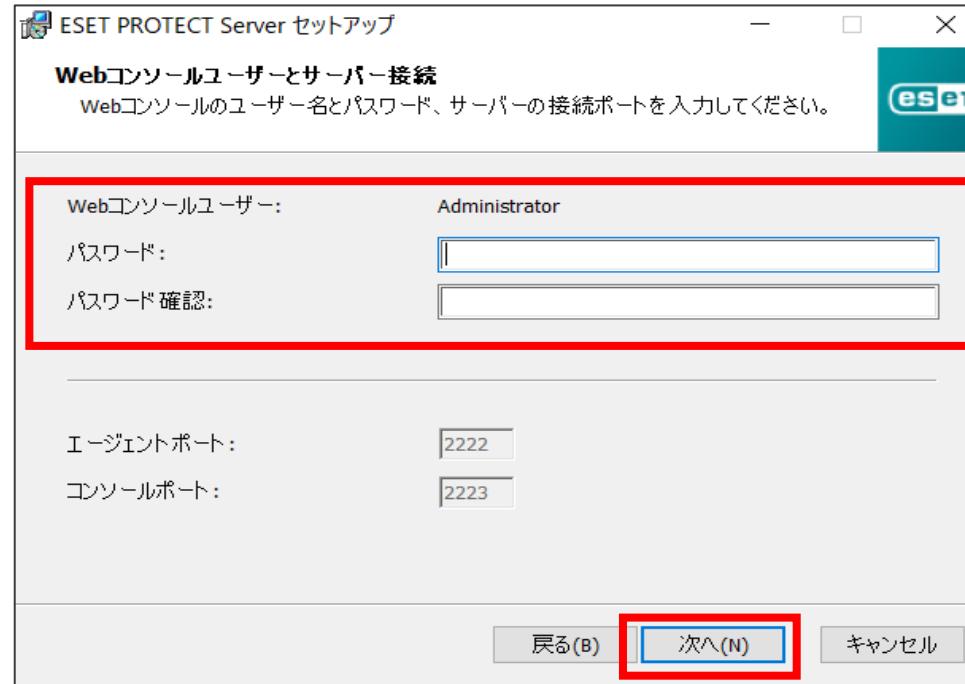


## 【構成例 2】サーバーの構築 - セキュリティ管理ツールの構築

- Webコンソールユーザーとサーバー接続画面が表示されたら、任意のパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。※ESET PROTECT on-premのログインに利用します。

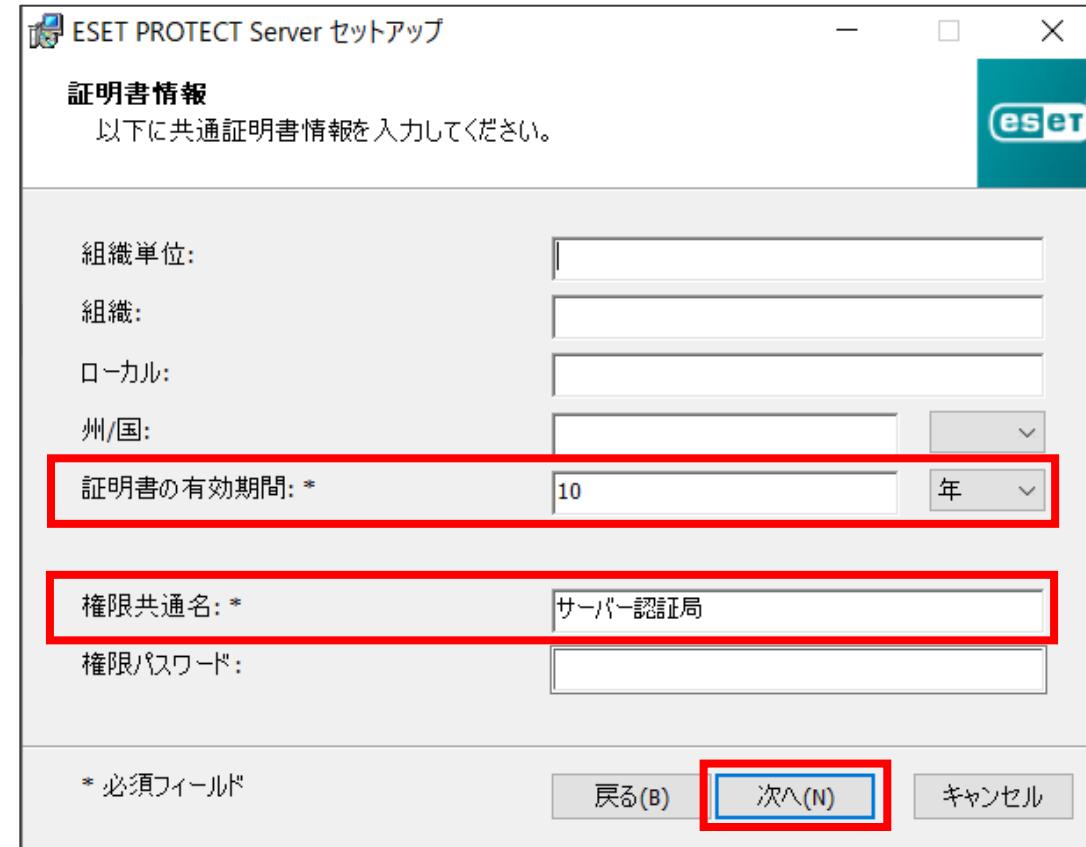
設定するパスワードは以下の要件を満たす必要があります。

- 14文字以上
- 小文字 / 大文字 / 番号 / 特殊文字 のうち、少なくとも3つを組み合わせる



## 【構成例 2】サーバーの構築 - セキュリティ管理ツールの構築

- 証明書情報画面が表示されたら、必須フィールドが入力されていることを確認し、「次へ」をクリックします。



## 【構成例 2】サーバーの構築 - セキュリティ管理ツールの構築

- 「インストール」をクリックし、インストールを開始します。



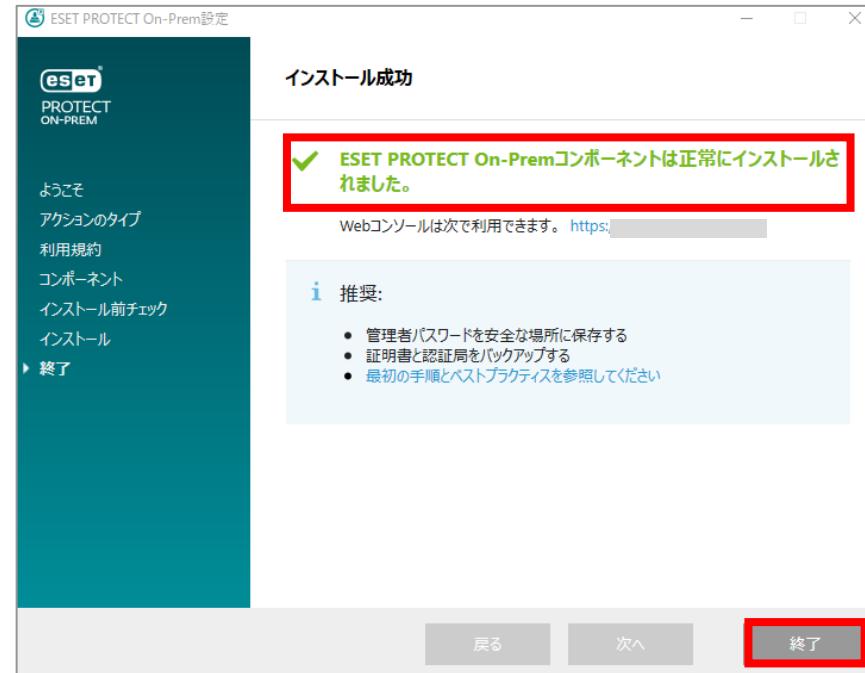
## 【構成例 2】サーバーの構築 - セキュリティ管理ツールの構築

- 「完了」をクリックします。



## 【構成例 2】サーバーの構築 - セキュリティ管理ツールの構築

- インストールが完了すると、以下の画面が表示されます。Webコンソールのアドレスが表示されているのでご確認ください。
- 「終了」をクリックして、インストールを終了します。



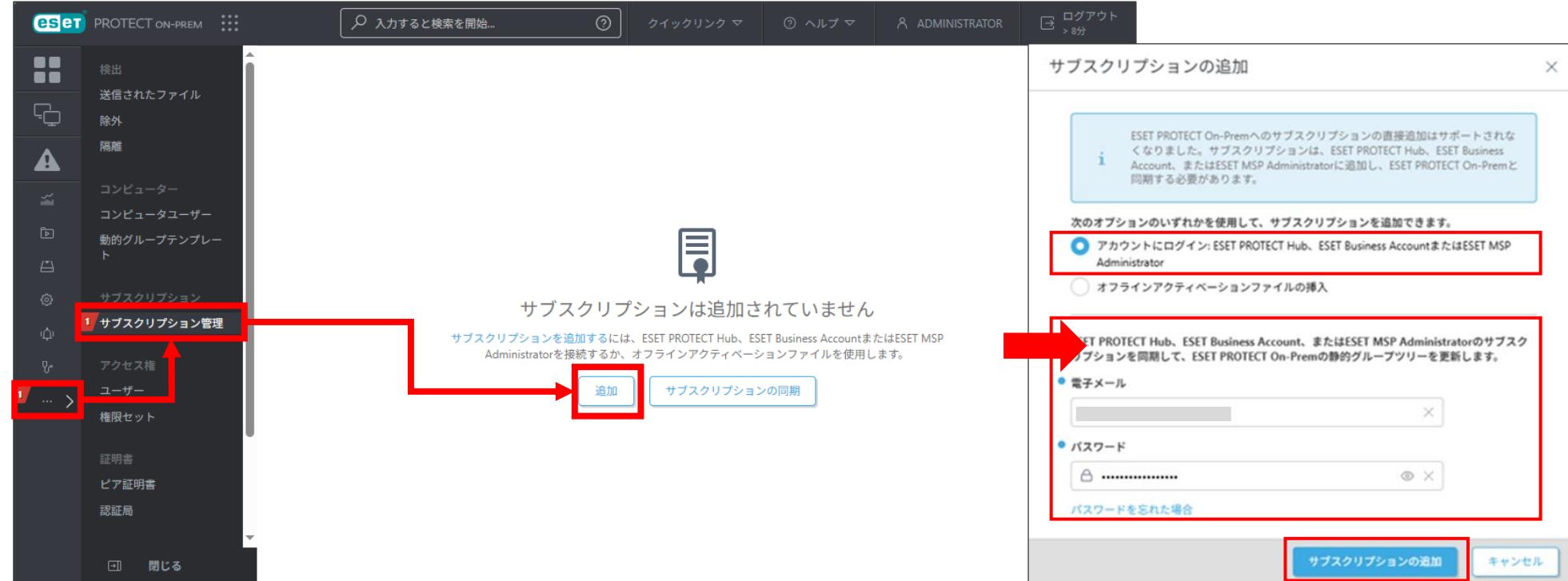
## 【構成例 2】サーバーの構築 - セキュリティ管理ツールの構築

- セキュリティ管理ツールのアクティベーションを行うため、Webブラウザを起動し、P.61で確認したアドレスを入力します。
- Webコンソールが表示されましたら、言語を「日本語」に設定します。
- ユーザー名と、P.57で設定したパスワードを入力し「ログイン」をクリックします。



## 【構成例 2】サーバーの構築 - セキュリティ管理ツールの構築

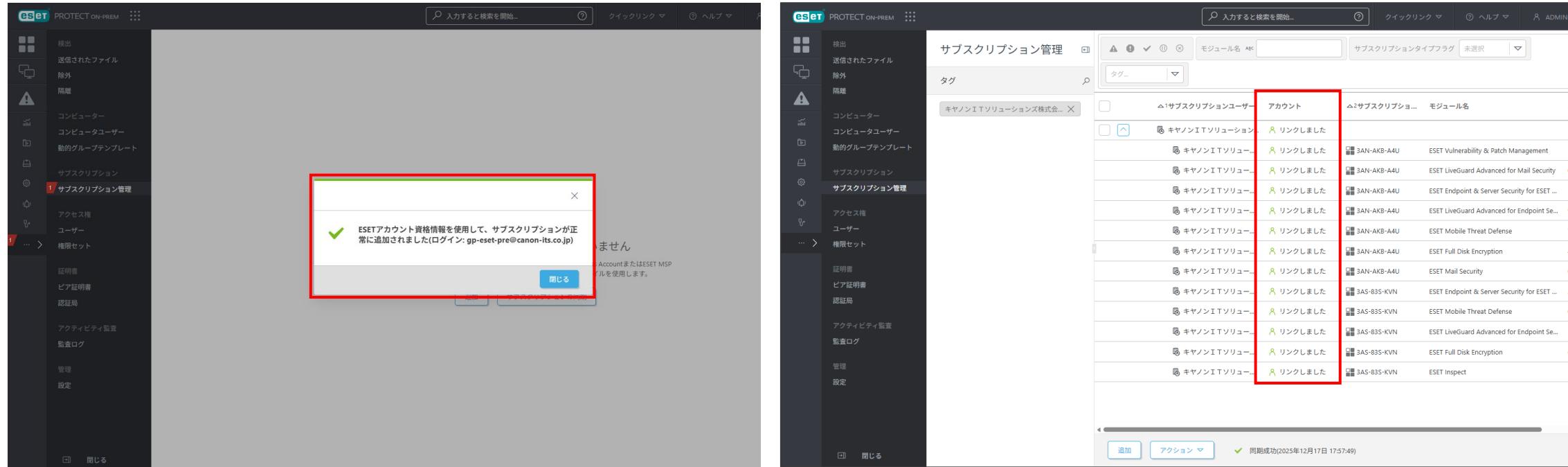
- 画面左側の「詳細」→「サブスクリプション管理」と進み、「追加」をクリックします。
- EBAまたはEPHのアカウント情報を入力して「サブスクリプションの追加」をクリック（アクティベーション）します。



## 【構成例 2】サーバーの構築 - セキュリティ管理ツールの構築

- 「サブスクリプションが正常に追加されました」という画面が表示され、「サブスクリプション管理」画面のアカウント欄に「リンクしました」という表示が確認できたら完了です。

以上で、「セキュリティ管理ツールの構築」作業は完了です。



ESETアカウント資格情報を使用して、サブスクリプションが正常に追加されました(ログイン: gp-eset-pre@canon-its.co.jp)

サブスクリプション管理

アカウント	モジュール名
キヤノンITソリューションズ株式会社	3AN-AKB-A4U ESET Vulnerability & Patch Management
キヤノンITソリューションズ株式会社	3AN-AKB-A4U ESET LiveGuard Advanced for Mail Security
キヤノンITソリューションズ株式会社	3AN-AKB-A4U ESET Endpoint & Server Security for ESET ...
キヤノンITソリューションズ株式会社	3AN-AKB-A4U ESET LiveGuard Advanced for Endpoint Se...
キヤノンITソリューションズ株式会社	3AN-AKB-A4U ESET Mobile Threat Defense
キヤノンITソリューションズ株式会社	3AN-AKB-A4U ESET Full Disk Encryption
キヤノンITソリューションズ株式会社	3AN-AKB-A4U ESET Mail Security
キヤノンITソリューションズ株式会社	3AS-835-KVN ESET Endpoint & Server Security for ESET ...
キヤノンITソリューションズ株式会社	3AS-835-KVN ESET Mobile Threat Defense
キヤノンITソリューションズ株式会社	3AS-835-KVN ESET LiveGuard Advanced for Endpoint Se...
キヤノンITソリューションズ株式会社	3AS-835-KVN ESET Full Disk Encryption
キヤノンITソリューションズ株式会社	3AS-835-KVN ESET Inspect

## 【構成例 2】 クライアントPCへの展開 -ミラーサーバーに接続するポリシーの作成

各クライアントが検出エンジンをアップデートする際に、ミラーサーバーに接続するポリシーを作成します。

※ミラーサーバーを構築されない場合は本手順をスキップし、p70へお進みください

- セキュリティ管理ツールにログインします。



## 【構成例 2】クライアントPCへの展開 -ミラーサーバーに接続するポリシーの作成

- 右上のクイックリンクの「新しいポリシーの作成」をクリックします。



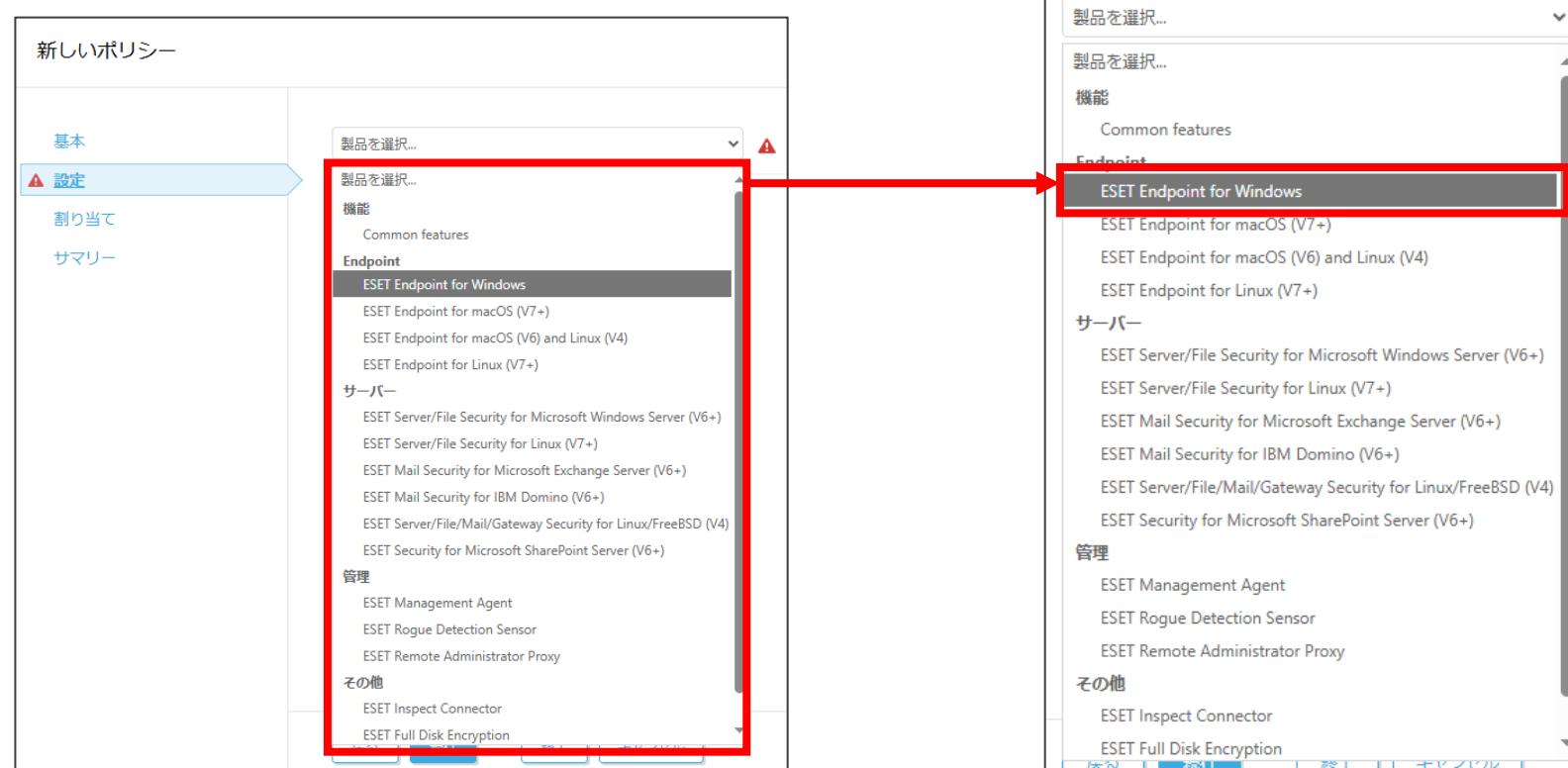
## 【構成例 2】クライアントPCへの展開 -ミラーサーバーに接続するポリシーの作成

- 「名前」でポリシーの名前(例：ミラーサーバーへの接続設定)を入力し、「続行」をクリックします。  
※説明の入力は任意です。



# 【構成例 2】クライアントPCへの展開 -ミラーサーバーに接続するポリシーの作成

- 「設定」に移動します。
- 「製品を選択」で「ESET Endpoint for Windows」を選択します。



## 【構成例 2】クライアントPCへの展開 -ミラーサーバーに接続するポリシーの作成

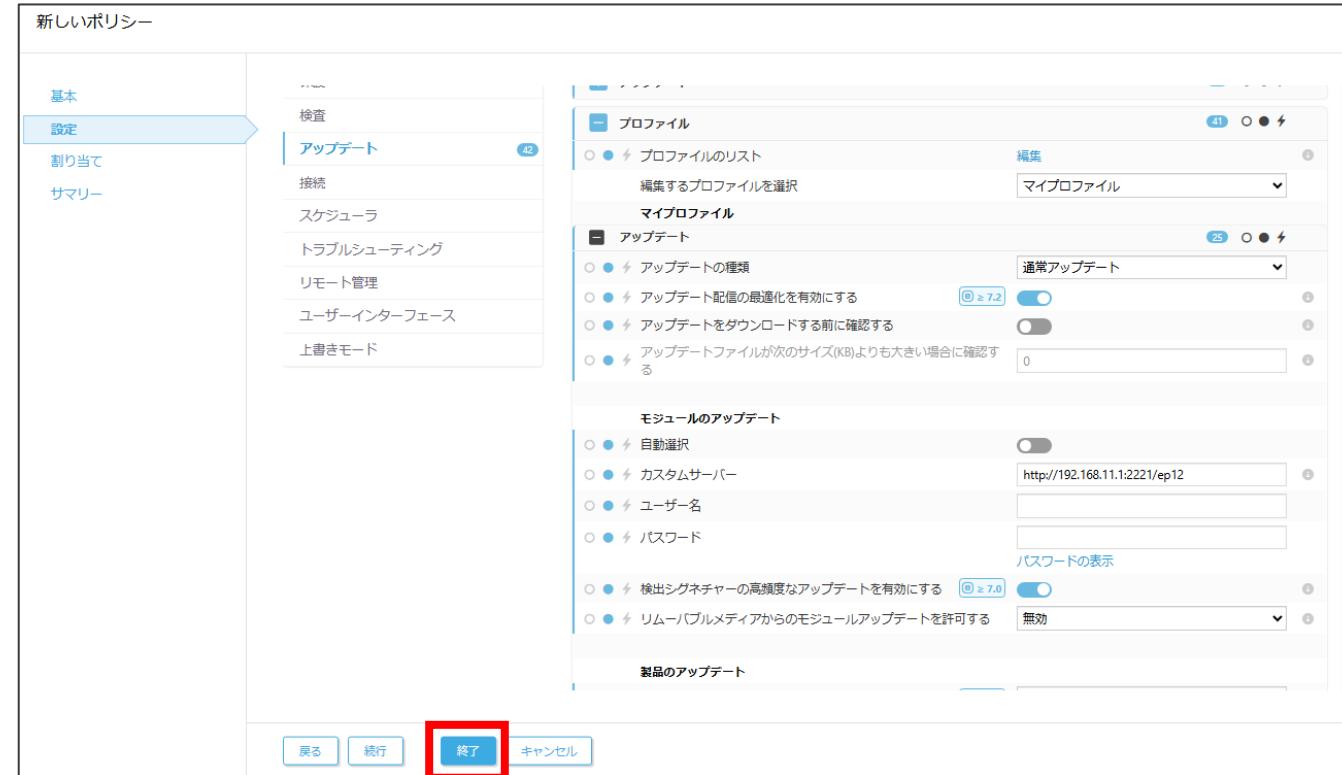
- 「アップデート」→「プロファイル」→「アップデート」をクリックし、「モジュールアップデート」→「自動選択」をオフにします。
- 「カスタムサーバー」に「http://ミラー端末のIPアドレス:2221(ミラーサーバー構築にて設定したポート)/ep12(ミラーサーバーで公開しているV12用アップデートフォルダ)」を入力します。  
※(例)http://192.168.1.2:2221/ep12  
※プロキシサーバー経由でインターネットに接続する環境の場合は、以下の項目も入力します。  
「ツール」→「プロキシサーバ」より、「プロキシサーバを使用」にチェックを入れ、プロキシサーバーのIPアドレスやポートを入力。



# 【構成例 2】クライアントPCへの展開 -ミラーサーバーに接続するポリシーの作成

- 「終了」をクリックします。

以上で、「ミラーサーバーに接続するポリシーの作成」作業は完了です。



# 【構成例 2】 クライアントPCへの展開 -オールインワンインストーラーの作成

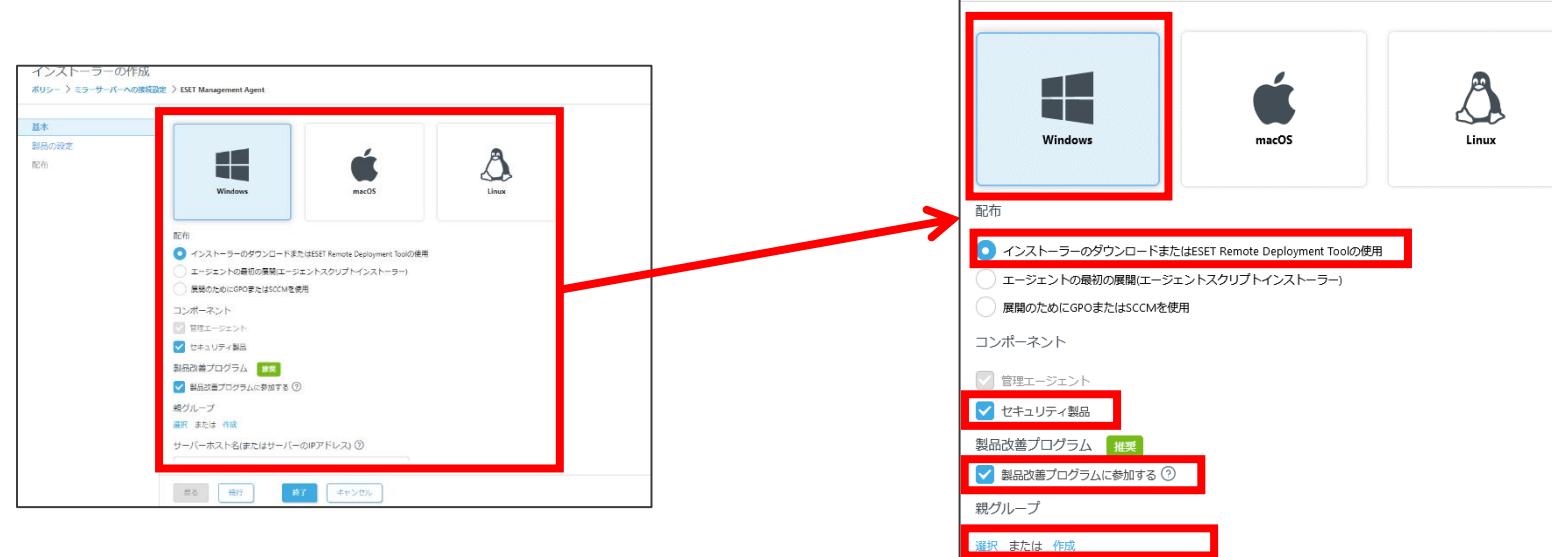
クライアントPCへ展開するためのオールインワンインストーラーを作成します。

- 右上のクイックリンクの「エージェントの展開…」をクリックします。



## 【構成例 2】 クライアントPCへの展開 -オールインワンインストーラーの作成

- OSで「Windows」を選択します
- 「配布」で「インストーラーのダウンロードまたはESET Remote Deployment Toolの使用」を選択します。
- 「コンポーネント」で「セキュリティアプリケーション」を選択します。
- 「製品改善プログラム」で任意の設定します。
- 「親グループ(任意)」を選択すると、インストール直後にクライアントが所属する静的グループを選択することができます。※既定では「LOST+FOUND」グループに所属します。



## 【構成例 2】 クライアントPCへの展開 -オールインワンインストーラーの作成

- 「サーバーホスト名(またはサーバーのIPアドレス)」で、セキュリティ管理ツールのホスト名、またはIPアドレスを入力します。※ホスト名を入力した場合は、クライアント側で名前解決できる必要があります。
- 「ポート」でポート番号が「2222」になっていることを確認します。
- 「ピア証明書」でESET PROTECT証明書を選択し、「ESET PROTECT証明書」に証明書が登録されていることを確認します。



## 【構成例 2】 クライアントPCへの展開 -オールインワンインストーラーの作成

- 「その他の設定をカスタマイズ」を選択します。
- 「インストーラー名」でオールインワンインストーラーの名前を入力します。※説明の入力は任意です。
- 「コンポーネントインストール」でインストール時に最新のバージョンとコンポーネントをインストールするか設定します。



## 【構成例 2】 クライアントPCへの展開 -オールインワンインストーラーの作成

- 「HTTPプロキシ設定」はご利用のネットワーク環境に応じて設定し、「続行」をクリックします。  
 ※クライアントとESET PROTECT on-prem間や、クライアントとインターネット間の通信でプロキシをご利用の場合は、別途エージェント用のポリシーを作成します。  
 ※作成したポリシーは、「エージェント設定」より設定します。



## 【構成例 2】 クライアントPCへの展開 -オールインワンインストーラーの作成

- 「セキュリティアプリケーション」よりインストールしたい製品を選択し、「OK」をクリックします。
- 「保護およびインストール設定」にて任意の設定をします。
- 「法的文書」にて「エンドユーザー ライセンス契約に同意し、プライバシーポリシーを承諾します」にチェックを入れます。※必須

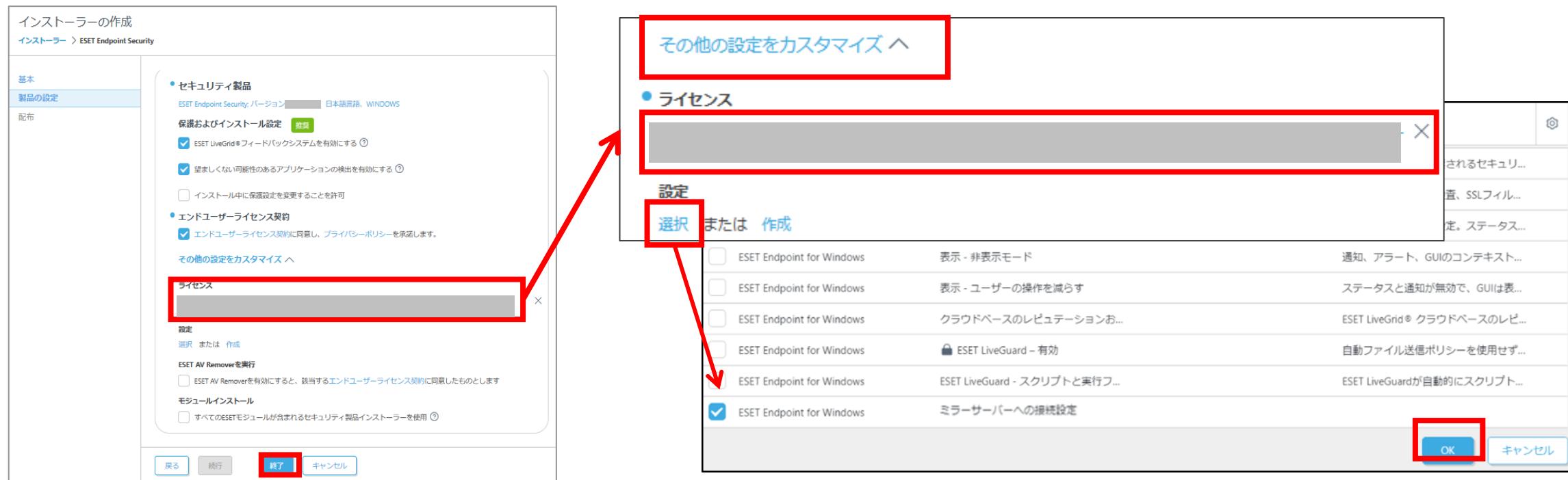


＜注意＞

「製品/バージョン」で選択する製品は、お客様のご利用予定のプログラムを指定してください。

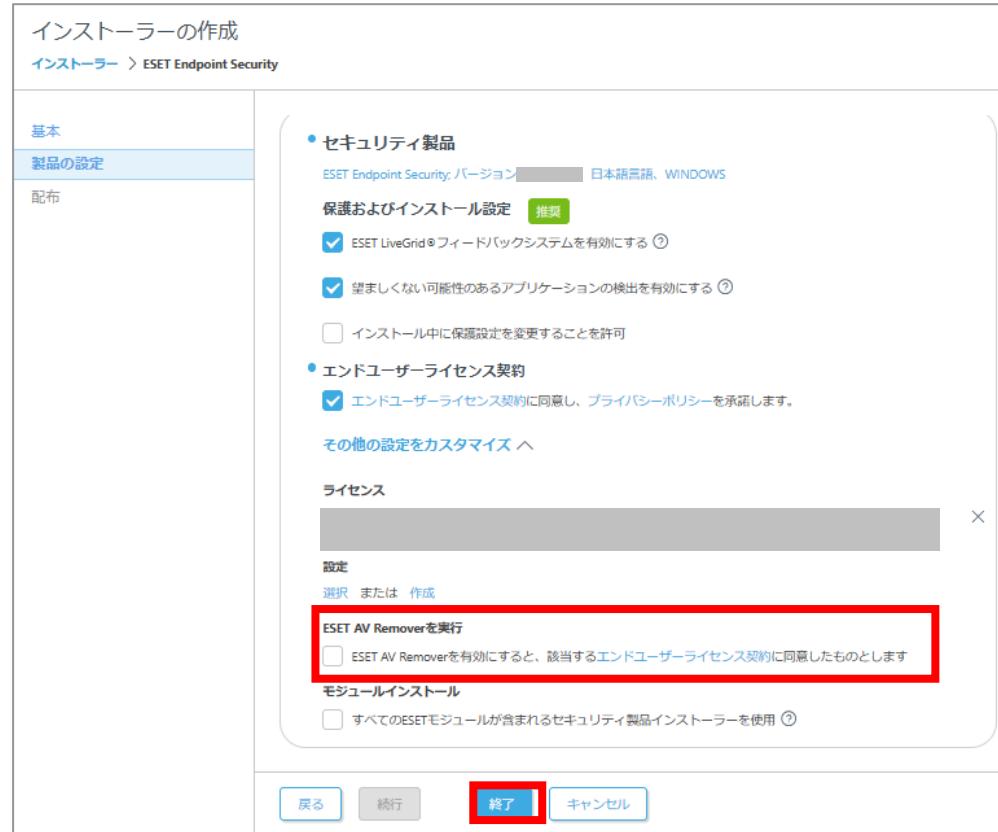
## 【構成例 2】 クライアントPCへの展開 -オールインワンインストーラーの作成

- 「その他の設定をカスタマイズ」をクリックします。
- 「ライセンス」に、ご利用のライセンス情報が登録されていることを確認します。
- 「設定」より、「ミラーサーバーに接続するポリシーの作成」作業で作成したポリシーを選択し、「OK」をクリックします。※ミラーサーバーを構築されない場合は本手順は不要です



## 【構成例 2】 クライアントPCへの展開 -オールインワンインストーラーの作成

- 「ESET AV Removerを有効にする」にチェックが入っていないことを確認します。チェックが入っていた場合は外してください。
- 「終了」をクリックします。



## 【構成例 2】 クライアントPCへの展開 -オールインワンインストーラーの作成

- インストールするクライアントの環境にあわせて「32bit」または「64bit」を選択します。
- ファイル保存中の画面が表示され、ダウンロードが完了したら「閉じる」をクリックします。インストーラーが保存されていることを確認します。

以上で、「オールインワンインストーラーの作成」作業は完了です。



## 【構成例 2】 クライアントPCへの展開 -オールインワンインストーラーの作成

作成したオールインワンインストーラーをクライアント側で実行し、クライアント用プログラムとEMエージェントをインストールします。

- 作成したオールインワンインストーラーを各端末のデスクトップなどにコピーします。
- オールインワンインストーラーをダブルクリックしインストーラーを起動させます。
- 「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。

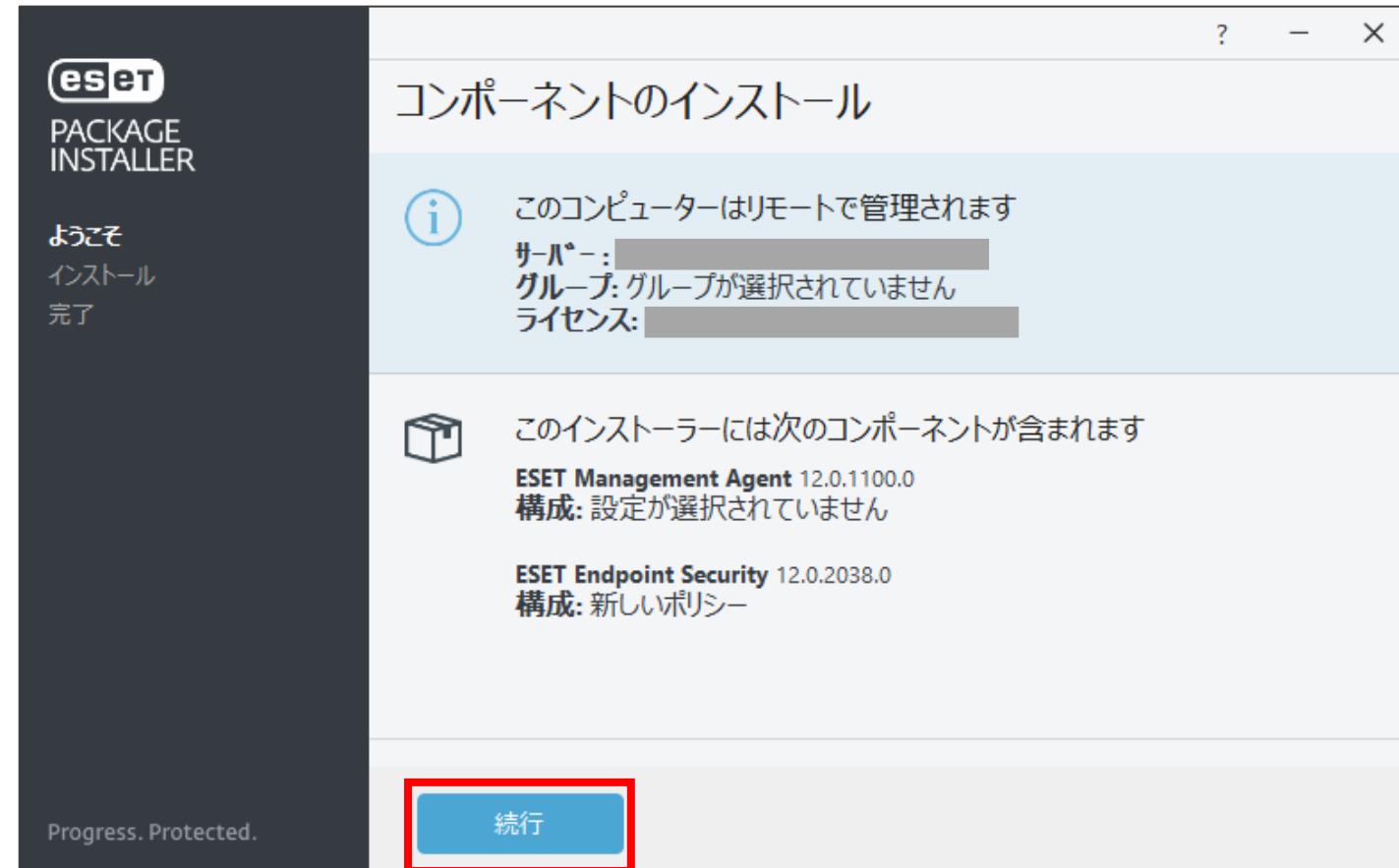
**重要**

ESET Endpoint Securityをインストールする前に、他のウイルス対策ソフトがインストールされていないことを確認してください。2つ以上のウイルス対策ソフトが1台のコンピューターにインストールされていると、互いに競合し重大な問題が発生する場合がありますので、他のウイルス対策ソフトはアンインストールしてください。



## 【構成例 2】クライアントPCへの展開 -オールインワンインストーラーの作成

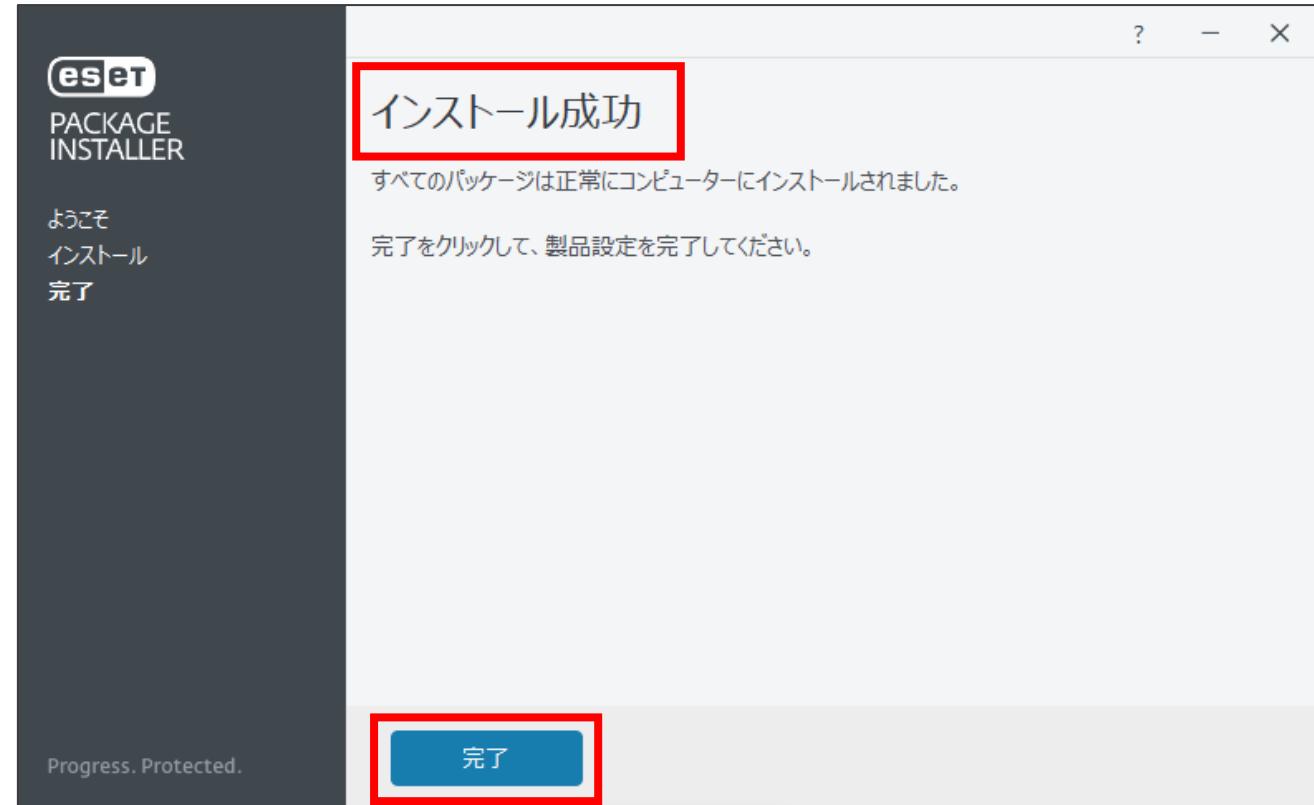
- 以下のような画面が表示されましたら、「続行」をクリックします。



## 【構成例 2】クライアントPCへの展開 -オールインワンインストーラーの作成

- 「インストール成功」画面が表示されましたら、「完了」クリックします。

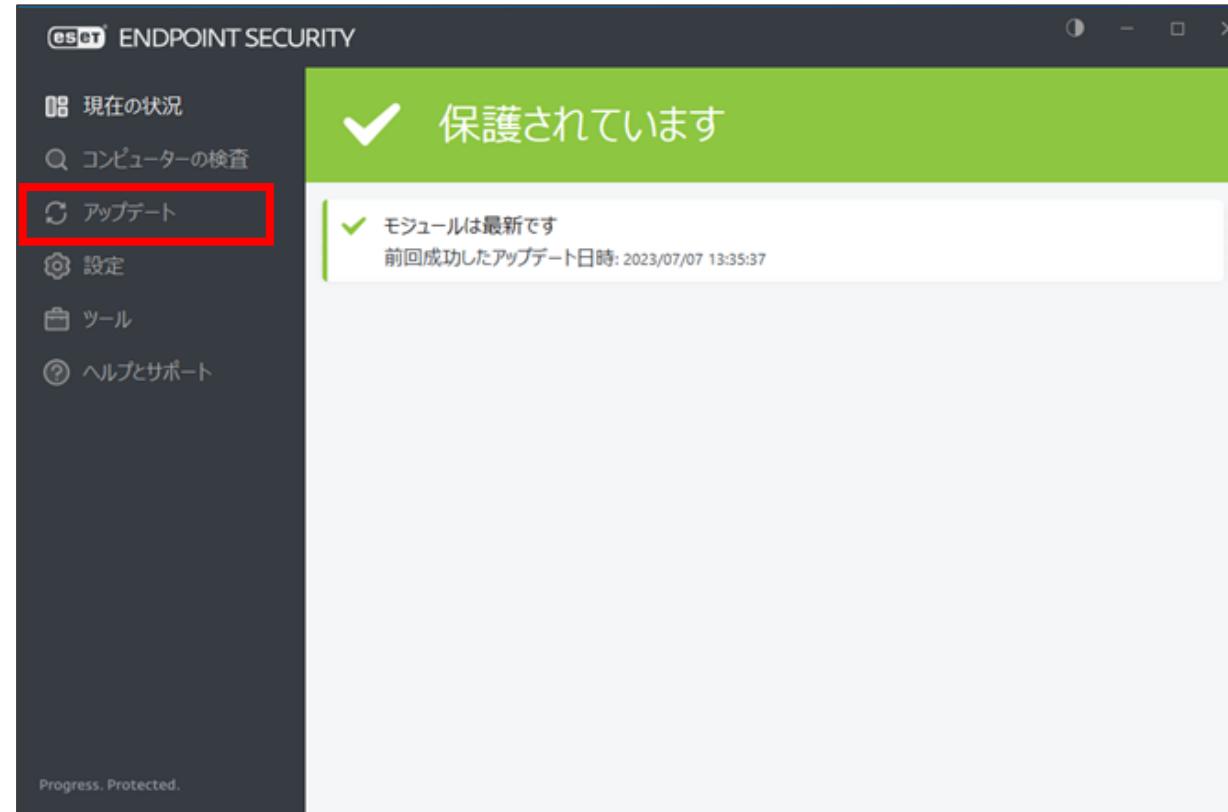
以上で、「オールインワンインストーラーの実行」作業は完了です。



## 【構成例 2】管理するクライアントPCの確認

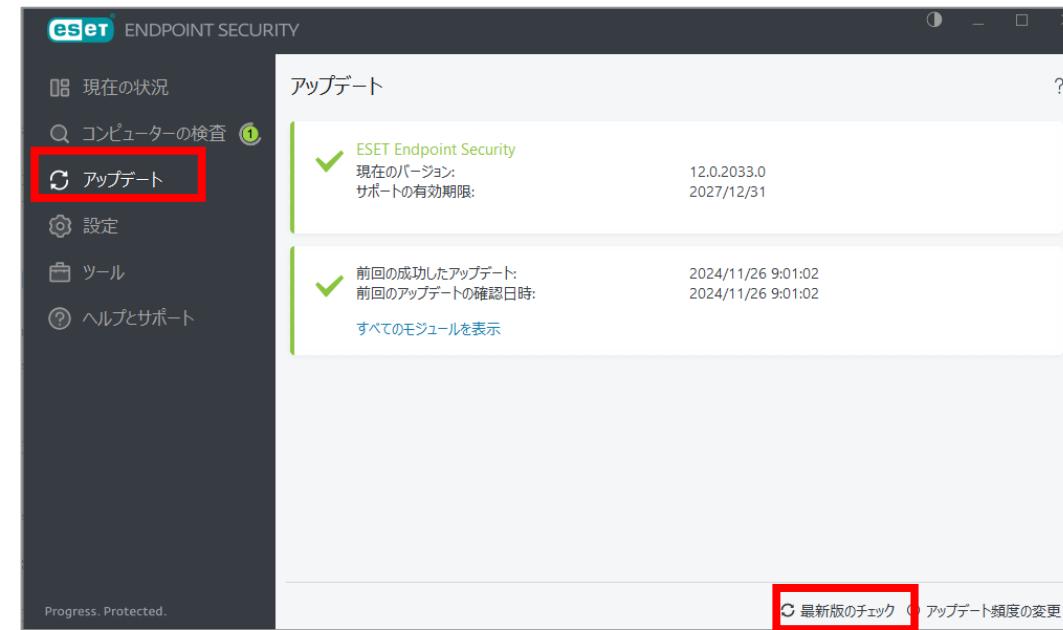
環境構築作業の確認として、管理する各クライアントPCの確認を行います。

- オールインワンインストーラーを実行したクライアントにて、ESET Endpoint Security の画面を表示し、「アップデート」をクリックします。



## 【構成例 2】管理するクライアントPCの確認

- 「最新版のチェック」をクリックし、検出エンジンをアップデートし、ミラーサーバーからアップデートできることを確認します。  
※アップデートが実行中の場合は、一度「アップデートのキャンセル」をクリックしてから、再度アップデートを行ってください。  
※「前回のアップデートの確認日時」が更新されていれば、アップデートは成功しております。



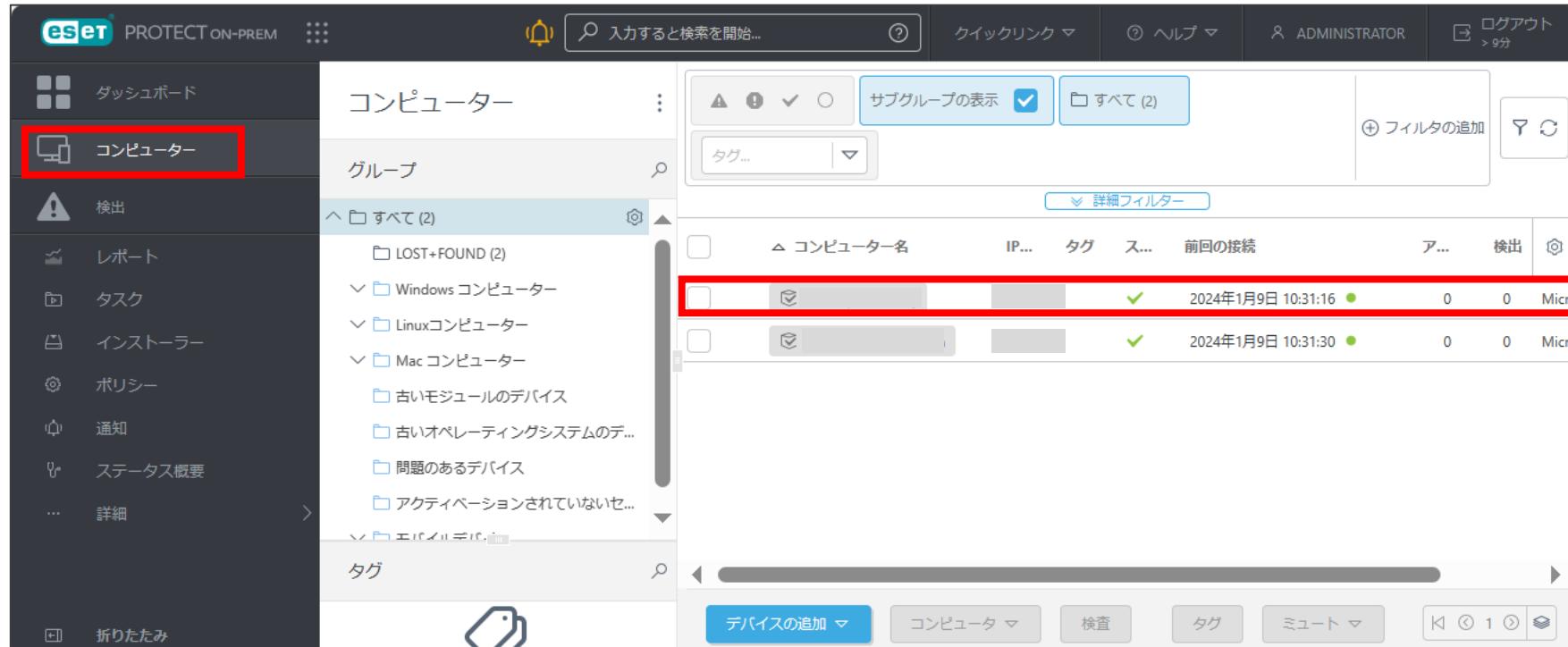
## 【構成例 2】管理するクライアントPCの確認

- 続いて、セキュリティ管理ツールにて、クライアントが管理できていることを確認します。
- セキュリティ管理ツールにログインします。



## 【構成例 2】管理するクライアントPCの確認

- 「コンピューター」より、クライアントの一覧画面にオールインワンインストーラーを実行したクライアントが表示されていることを確認してください。  
 ※オールインワンインストーラー作成時に、親グループを指定している場合は各グループを選択してご確認ください。



コンピューター名	IP...	タグ	ス...	前回の接続	ア...	検出
2024年1月9日 10:31:16		✓		2024年1月9日 10:31:16	●	0 0 Micr.
2024年1月9日 10:31:30		✓		2024年1月9日 10:31:30	●	0 0 Micr.

以上で、構成例2の構築作業は終了となります。